

米政治 第2次政権の外交・内政・経済を読む
新トランプ・ワールド

カナダ
トルドー辞任と
進歩派の限界

韓国ドラマ
イカゲーム2に
足りないもの

ニュースウィーク日本版

Newsweek

二〇二五年一月二十一日発売（毎週火曜日まで）（一月十五日発売）
昭和六十二年三月四日第三種郵便物認可
第四〇巻三号（通巻一九一四号）

トランプ 新政権ガイド

1月20日の就任式を目前に「爆弾」を連続投下
トランプ新政権の外交・内政と日本経済への影響を読む

2025

1.21

■ ニュースウィーク日本版
Newsweek[®]

わが国の経済安全保障のために必要だ。

トランプ次期米大統領——太平洋と大西洋を結ぶ交通の要衝パナマ運河の管理権や、鉱物資源の豊富なグリーンランド（デンマーク領）の獲得に軍事力や経済力を用いる可能性を否定せず、その理由を説明して

次の選挙で私はベストな選択肢ではない。

カナダのトルドー首相——少数与党・自由党の党首を辞任し、9年にわたって務めた首相の座を退くと表明して

大統領には十全な分析を渡した。

イエレン米財務長官——バイデン米大統領が日本製鉄によるUSスチール買収の「阻止」を命じたことへのコメントを求められて、彼女が議長を務める対米外国投資委員会（CFIUS）の審査では結論に至らず、最終判断を大統領に委ねていた



©2025 BLEIBEL, Beirut, LEBANON, CartoonArts International



©2025 HENG KIM SONG

世界一の金持ちがナチスの後継を公然と支持している。

責任はロシアの代表者にある。

スペインのサンチェス首相——総選挙を2月に控えたドイツの極右政党「ドイツのための選択肢（AfD）」を絶賛した米実業家イーロン・マスクに苦言を呈して
アゼルバイジャンのアリエフ大統領——38人が死亡した昨年12月25日のアゼルバイジャン航空の旅客機墜落についてプーチン政権の責任を追及して

公邸にいる。

韓国の尹錫悦大統領の弁護人——内乱容疑で拘束令状が出ている尹が「逃亡」したとの疑惑を否定して

世界中の若い俳優やクリエイターの皆さん、自分を信じ、決して諦めないで。

俳優の真田広之——主演した『SHOGUN 将軍』でゴールデン・グローブ賞テレビドラマ部門の主演男優賞を受賞したスピーチで。同作は作品賞など4冠を達成したファクトチェックをかけたいた。

適切な政治的意見と言えそうな投稿にまでファクトチェックをかけたいた。
——IT大手メタを率いるマーク・ザッカーバーグ——傘下のフェイスブックやインスタグラムについて、アメリカ国内では第三者機関による投稿内容のファクトチェックをやめると発表して。トランプ次期政権への配慮とみられる



©2025 AMORIM—CORREIO DO POVO, Porto Alegre, BRAZIL, Cartoon Movement

■ ニュースウィーク日本版
Newsweek[®]



Special Report

トランプ 新政権ガイド

1月20日の就任式を目前に「爆弾」を連続投下
トランプ新政権の外交・内政と日本経済への影響は？

米政治	再来するトランプ・ワールドの展開を読む	18
外交	「領土奪取」をあえて唱える理由	22
不法移民	最大の強制送還で経済は失速	24
新貿易戦争	メキシコとの対立でチャンスを得るのは中国	26
視点	ショック療法が日本経済には必要だ	27

トルドー辞任と進歩派の袋小路

カナダ リベラルの象徴だった首相の退場が意味するものは

Periscope

UNITED STATES	「ファクトチェック廃止」メタの本当の狙い	12
UNITED STATES	米政府攻撃「ソルトタイフーン」の深刻度	13
CHINA	HMPV感染急増の中国への旅行は安全か	
GO FIGURE	去り行くバイデンはトランプより人気なし	

Commentary

主張	戦後80年の日米関係を棚卸しせよ	河東哲夫	14
豪州	SNS年齢制限という大実験	ピーター・シンガー	15
アジア	「法の支配」を軽視する韓国与野党	木村 幹	16
Superpower Satire	風刺画で読み解く「超大国」の現実		
	凶器の違いで狂気になる人々	ロブ・ロジャース&バックン	17
Economics Explainer	経済ニュース超解説		
	経団連会長人事と日本経済の今	加谷 珪一	36
Help Wanted	人生相談からアメリカが見える		
	作家志望の妻を支える兄が心配		37

World Affairs

欧州	もうシリア難民に保護は不要？	30
フランス	「極右の父」が遺した極右が主流になる現実	33

Features

中東	サウジアラビアの外交Xデーはあるか	40
ロシア	スパイは国民のヒーローだ	45

Life/Style

Drama	新たな『イカゲーム』の大いなる不在	48
Comedy	「まるで経験したことのない作品だった」	50
Books	筋トレのように読書トレーニングしてみたら	51
Food	小籠包パワーが世界を席巻する	52
Society	J・K・ローリングに「復権」の兆し	56
My Turn	eスポーツとともに成長してきた今思うこと	58

Departments

Perspectives	5	In Focus	8
Picture Power	チアが生んだ喜びと絆は国境を越えて	62	
News English & Letters	68		
Tokyo Eye	外国人リレーコラム——西村カリン		
	もしかして、日本の政治のほうがまし？	70	

COVER: AP/Aflo

In Focus

WASHINGTON, D.C.

CARACAS

TIBET

LOS ANGELES



DAVID MCNEW / GETTY IMAGES



 UNITED STATES

LA史上最悪の山火事が招いた ハリウッド映画のような惨劇

新年早々、米ロサンゼルスで史上最悪の山火事が襲った。1月7日に発生した山火事が急速に燃え広がり、消火活動もむなしく約140平方キロを焼き尽くした。地元メディアによれば9日時点で焼失した建物はハリウッド近郊の高級住宅街を含め9000棟以上。約18万人に避難命令が出ており、身一つで逃げ出した人々は途方に暮れている。まるで映画のような惨劇だ。



FROM LEFT: CHIP SOMODEVILLA / GETTY IMAGES, AFP—時事, EPA—時事



UNITED STATES

さよならカーター 歴代大統領が告別

昨年12月29日に100歳で死去したカーター元米大統領の国葬が1月9日、首都ワシントンで営まれた。クリントン、ブッシュ、バイデンといった歴代の大統領やファーストレディー、副大統領が集結し、トランプとオバマが会話する一幕も。星条旗に包まれたひつぎの中で、人格者として世界から尊敬を集めた第39代大統領は何を思っただろうか。



VENEZUELA

おばさん民兵が守る 疑惑の大統領就任式

ベネズエラの首都カラカスで1月10日、マドゥロ大統領が2期目の就任式を行った。昨年5月の選挙が野党のみならず周辺諸国や欧米からも不正と批判されるなか、就任式に先立つ7日には民兵組織に対して宣誓。国軍の下部組織とされ、国営企業の従業員なども含まれるこの民兵組織には「普通のおじさんやおばさん」の姿も(写真)。



CHINA

極寒のチベットが 大地震の被災地に

1月7日にマグニチュード6.8の地震が発生した中国西南部・チベット自治区シガツェ市の翌日の様子を、上空からカメラが捉えた。右側に倒壊した建物、左側に仮設テントが張られている。少なくとも126人が死亡し、家屋3600棟以上が倒壊。電気と水道が止まり夜には気温がマイナス18度になるなか、一刻も早い救助と被災者支援が必要だ。

Periscope

UNITED STATES

ファクトチェックを廃止するメタの本当の狙い

メタのマーク・ザッカーバーグCEOが1月7日、重大発表を行った。同社のSNSプラットフォーム、フェイスブックとインスタグラムに投稿した5分間の動画で、「移民やジェンダーなどのトピックに関する規制を撤廃する」と同時に、有害と判断したコンテンツを削除する自動システムの敷居を下げると明言したのだ。

「ヘイトまみれの行為」に対するポリシーも変更され、「ジェンダーや性的指向に対する精神疾患や異常性の主張」も許容するという。

さらにアメリカでは「ファクトチェック機能を廃止」し、ユーザー同士が誤情報に注意喚起する「コミュニティノート」方式に置き換える。これはイーロン・マスクが2022年に買収し、翌年にXと改名した旧ツイッターに近いやり方だ。「自由な表現という原点に立ち返る」と、ザッカーバーグは力説した。

どうやら次期大統領を意識

した方針変更らしい。ザッカーバーグはトランプ同様に政府や既存メディアの「検閲」を批判し、「最近の選挙は再び言論（の自由）を優先する方向に進む文化的転換点のようを感じる」と付け加えた。メタが政権を握った政党に



米上院司法委員会の公聴会で証言するザッカーバーグ(2024年1月)

けだ。メタのファクトチェック・プログラムは世界90以上の国・地域の独立したパートナーで構成され、60以上の言語で運営されている。彼らの多くは自分たちも切られるのではないかと心配している。「大半はメタのプロ

グラムのおかげで成長し、生計を立ててきた小規模な組織」だと、台湾ファクトチェックセンターの元編集長サマー・チエンは言う。

自分たちは新型コロナウイルスのパンデミックやウクライナ紛争をめぐる偽情報と闘ってきたと、チエンは力説する。「私たちは世界的な偽情報の防衛ラインを構築した」

だがマスク買収後のXにメタが追従したことで、「防衛ラインとファクトチェック・コミュニティは存亡の危機に立たされる」という。もっと規模の大きなパートナーもこの決定に憤慨しているようだ。フランスの通信社AFPもその一つ。「アメリカ

カでのファクトチェック廃止をメタから知らされたのは発表の15分前だった」と、グローバルニュース・ディレクターのフィル・チエトウィンドは同社のサイトに書き込んだ。誤情報に関するメタの対応がもたらす有害な影響は、欧米以外のほうが深刻だ。例えばフェイスブックは18年、ミャンマーで民族間の暴力をおおる手段として使われるのを防ぐ措置を十分に講じてこなかったことを認めている。

だが、専門家がさらに懸念するのは、「ヘイトまみれのコンテンツ」に対する規制の撤廃だ。この変更は世界中で適用される。「かなり悲惨な結果を招く変更だと思う」と、民主主義とテクノロジー研究所・自由言論プロジェクト（ワシントン）のディレクター、ケイト・ルエインは言う。

一方で、こうした「トランプ頼み」の姿勢は裏目に出る可能性もある。「問題はトランプが本当に味方でいてくれるかどうか」だと、ハーバースは言う。「自分にとって一番有利な道を選ぶのがトランプという人間だ」

リシ・タイエンガー

（フォーリンポリシー誌記者）

MICHAEL BROCHSTEIN—SOPA IMAGES/REUTERS

From Foreign Policy Magazine

GO FIGURE

去り行くバイデンは トランプより人気なし

近々退任するバイデン米大統領の支持率は、トランプ次期大統領が1期目を終えたときの支持率より低いことが分かった。米ABCニュースが運営する世論調査集計サイト「538」によれば、バイデンを支持するアメリカ人はわずか37.1%で、不支持は57.1%。対するトランプは2021年1月20日時点で支持が38.6%、不支持が57.9%だった。大統領選の結果に抗議するトランプ支持者が連邦議会議事堂に乱入した暴動の後でさえこの数字だ。20年大統領選前日の11月2日の支持率はさらに高く44.6%、不支持は52.6%だった。インフレや移民問題、イスラエルとイスラム組織ハマスの対立などがバイデンの不人気に拍車をかけている。

37.1%

2025年1月8日の
バイデンの支持率

38.6%

21年1月20日のトランプの支持率

44.6%

20年11月2日のトランプの支持率



米政府攻撃「ソルト・タイフーン」の深刻度



中国は米政府から入手したデータを何に使うのか

米情報・安全保障当局者らは、中国国営系ハッカー集団「ソルト・タイフーン」の米通信ネットワークへの大規模侵入に危機感を強めている。昨年9月にソルト・タイフーンの大規模サイバー攻撃が報じられて以来、さまざまな被害についての報道が出ている。米当局関係者らは「打つ

手がない」「壊滅的だ」などと発言。政府も職員に対し、通常の電話やテキストではなく暗号化されたメッセージを送受信するように促している。中国が入手したデータは通話記録、政治家や外交官、安全保障当局者間の私的な通信記録のほか、さらに広範にわたる可能性がある。問題はどの活用されるかで、過去にCIAの通信が侵害された例では中国がCIA協力者を追放し、イランやロシアなどを支援する諜報活動を行った。米政府には情報漏洩を前提に行動する以外、できることはあまりない。もちろんアメリカも中国に対してサイバースパイ行為をしているのだが。

ジェームス・バーマー
（フーリン・ボリシー誌副編集長）

CHINA

HMPV感染急増の中国への旅行は安全か



特に子供の患者が増えている（1月6日、浙江省）

呼吸器疾患のヒトメタニューモウイルス（HMPV）の感染者が中国で急増している。日本を含むアジア諸国の報道は、中国への渡航を再考するよう警告。新型コロナウイルスのパンデミック禍を彷彿とさせる。しかし中国外務省の毛寧報道局長は呼吸器感染症は「冬季にピークを迎える」も

ので、中国政府は「国民と訪中する外国人の健康を気にかけて」おり、「中国への旅行は安全だ」と述べた。HMPVは2001年に発見されたウイルスだが、ワクチンは存在しない。飛沫や接触で感染が広がり、症状はインフルエンザ同様に咳、発熱、鼻づまりなど。子供や高齢者は重症化する可能性があるが、せつけんを使ってよく手を洗い、病人との接触を避けることで身を守ることができる。WHO（世界保健機関）は中国で十分な情報が得られないようで、世界的な公衆衛生上の緊急事態とも宣言していない。ただしコロナのような新しいウイルスよりは集団免疫力が高いことは確かだ。

ブレンダン・コール

新

年早々、筆者は沖縄の嘉数高台から眼下の米軍普天間基地を見下ろしていた。「有名な」オスプレイが旋回を繰り返しては、着陸の訓練を続ける。「周りは人家が密集」していることになっているが、それは言いすぎだ。人家は航空機の進入口の南方に集中している。しかし、そのような情景は大阪の伊丹空港など世界では珍しくない。



米軍普天間基地に並ぶオスプレイを見つめる

問題は、占領軍が駐留軍と名を変えはしたものの、戦後80年もたつて、なぜまだ日本の領土に居座っているのか、なぜ日本は安全くらい自前で守れる態勢をつくつてこなかったのか、ということにある。

筆者は戦後世代で、戦争は知らない。それでも、東京郊外のゼロ戦のエンジン組立工場の廃墟近くに建てられたバラックで育ったので、身の回りは破壊の跡、そして駐

OVERHAULING THE US-JAPAN RELATIONSHIP

戦後80年の日米関係を棚卸しせよ

河東哲夫(本誌コラムニスト、元外交官)

留米軍のジープや派手な尾ひれの付いた乗用車で満ちていた。それはごく自然な生活の一部で、反感も憤怒も全くなかった。

だが、外交官として過ごした35年、アメリカはほぼいつも頭上に覆いかぶさっていた。自立したくとも、日本の世論のかなりの部分は防衛力整備に抵抗したので、安眠面での対米依存は続けざるを得ない。そのことは、日米関係を偽善的なものにした。

つまり、アメリカは同盟関係をうたいながら、日本人を「突然真珠湾を攻めてきた」テロリストまがいの危険人種、とみることをやめない。日本は同盟関係をいいことに、当時の低賃金労働で作った工業製品を大量にアメリカに売り込み、いくつもの米企業を破綻させていとわない。

日本人の多くはアメリカを大谷翔平の言う「憧れ」を持って眺め、役人はワシントン出張を、学者はアメリカ留学を誇らしげに語る。そしてこちらが憧れる一方、先方は上から目線で日本を見続ける。

アメリカはならず者外交に逆戻り

今回バイデン大統領は、「安全保障上の懸念があるために」、日本製鉄のUSスチール買収を禁止した。トランプ次期大統領は、同盟国デンマークにグリーンランドを売却するよう脅している。もはや「自由と民主主義のための同盟」という美辞麗句が通る時代ではない。むき出しの力と打算が、米外交の基本原則となってきた。19世紀の末、スペインとの戦争でキューバ、フィリピンを奪い、ハワイ王国を併合した「ならず者外交」の時代を思い出す……。

皆、このようにありつたけの思いをぶちまけたらいい(ただし野原で)。日米関係の棚卸し、あるいは虫干しだ。それですつきりしたら冷静になって、いま何ができるか、するべきかを考えてみる。選択肢は限られている。日米同盟維持か、スイス型の自主中立か、中国との提携だ。スイス型路線が望ましいが、スイスは強い軍備、徴兵制を持つ。日本は防衛力を何年かけて整えることはできても、兵士のなり手が足りないだろう。中国との提携は、アメリカの市場や技術を大きく失うことを意味する。

トランプの唯我独尊路線がこれから定着してしまってもない。スージー・ワイルズ大統領首席補佐官はトランプの極端な物言いにブレーキをかけるだろうし、それはマイク・ウォルツ安全保障問題担当補佐官、マルコ・ルビオ国務長官も同様だ。だから、トランプに真っ向から立ち向かうのは愚の骨頂。理に合わない要求はいなしで、共通の目標に向かって巻き込むことだ。

アメリカとの関係では時々落胆させられるが、それはどこの国との関係でも同じこと。良い側面を大事にして、戦勝国・戦敗国意識が消えるのを待つしかあるまい。責任感があり、課題の解決に取り組むのが好きといった面で、共通するところも日米は多いのだから。



AKIO KAWATO

外交アナリスト。ロシア公使、ウズベキスタン大使などを歴任。メールマガジン「文明の万華鏡」主宰。著書に『意味が解体する世界へ』『ワルの外交』『米・中・ロシア—虚像に怯えるな』など。

TAMING SOCIAL MEDIA

SNS年齢制限という大実験が始まる

ピーター・シンガー（米プリンストン大学生命倫理学教授）

オ

ーストラリアの議会は昨年11月末、ソーシャルメディア事業者が16歳未満の子供にアカウントを作成させることを禁止する法案を可決した。ティーンエイジャーのメンタルヘルスへの影響を懸念する声が高まっていることを受けての措置だ。

規制対象になる見通しなのは、TikTok（ティクトック）やスナップチャット、インスタグラム、X（旧ツイッター）などのプラットフォームで、違反した事業者には罰金が科される。規制は今年末までに施行される。

新しい規制を支持する意見が多いが、批判もある。ソーシャルメディアと子供の関連性を疑う声もあるし、規制が言論の自由を侵害するという指摘も出ている。

賛成派の間でも、実際にどのように年齢制限を実施すればいいのかという疑問を抱く人が少なくない。

スマートフォンとソーシャルメディアが普及して以降、ティーンエイジャー、とりわけ女の子のメンタルヘルスが大幅に悪化していることにはほぼ疑問の余地がない。問題は、それが単なる相関関係にすぎないのか、それともそこに因果関係が存在する



ティーンエイジャーのメンタルヘルス悪化との因果関係は？

のかという点だ。

しかし、ソーシャルメディアの利用時間を減らすことの効果を明らかにしようにも、厳密な検証を行うことは難しい。

有効な実験を行うためには、まず1つの集団に属するティーンエイジャー全員に、ソーシャルメディアの利用をやめさせる必要がある。そうしなければ、ソーシャルメディアの利用がリアルな世界の交流に切り替わらないからだ。

それに加えて、対照実験を行うために、無作為抽出によって、ソーシャルメディアの利用をやめない集団も用意しなくてはならない。

このような徹底した実験が行われていない現状では、ソーシャルメディアと子供のメンタルヘルスの関係について断定的なことは言えない。その点、オーストラ

リアの新しい法律は、世界に先駆けた国単位の実験になる可能性がある。

問題は、そのためにはティーンエイジャーがソーシャルメディアに費やす時間を大幅に減らす必要があることだ。新しい法律の下では、ワッツアップなどのメッセージアプリや一部のオンライン上の健康・教育サービスは規制の対象外になる。それに、YouTubeの動画やフェイスブックな

どの一部のページは、アカウントを作成しなくてもアクセスできる。

一方で新しい規制は、子供のメンタルヘルスへの影響を懸念して対策を講じようとするソーシャルメディア事業者を助けるかもしれない。規制がない現状では、子供にアカウントを作成させないことを徹底するソーシャルメディアは、ライバルとの競争で不利な状況に甘んじているからだ。

オーストラリアの憲法には人権に関する体系的な規定がなく、裁判所は立法府の判断を尊重する傾向がある。しかし最高裁判所はこれまで、憲法の規定に照らすと、政治的コミュニケーションを不当に制約する立法は許されないと判断を示している。

新しい法律が憲法に違反しているという指摘に対しては、16歳未満の子供には選挙権がなく、政治的コミュニケーションの必要性が比較的小さいとか、ソーシャルメディアの弊害は極めて大きく、軽度な年齢制限であれば過剰な規制とは言えないと主張できるかもしれない。

政治的コミュニケーションに特化したソーシャルメディアを規制の対象外にするという方法もあり得る。しかしそのためには、どのコミュニケーションが政治的コミュニケーションに該当するかを判断するという難しい課題がついて回る。



PETER SINGER

プリンストン大学教授（生命倫理学）。著書「動物の解放」（1975年）で注目を集めた。NPO団体The Life You Can Save（あなたが救える命）創設者。オーストラリア出身。

N

SOUTH KOREA'S SELF-SEEKERS

「法の支配」を軽視する韓国与野党

木村 幹 (本誌コラムニスト、神戸大学大学院国際協力研究科教授)

12

月3日、尹錫悦大統領による戒厳令宣布と国会閉鎖などの試みは、たちまちのうちに失敗した。12月14日には、2回目の上程で大統領の弾劾訴追案が可決され、尹の大統領としての権限が停止された。尹や彼と共に戒厳令宣布を主導した人々には内乱罪の嫌疑がかけられ、前国防相をはじめとする要人が次々と逮捕された。

このような状況を受けて日本のメディアでは、続く憲法裁判所の審査でも弾劾が認められるのは確実であり、その後に行われる大統領選挙で最大野党「共に民主党」代表の李明在(李明在)が当選するだろうとの予測の下、来たるべき政権での対日政策について議論するところまで現れた。

しかし、韓国の政治状況は大きく変化した。尹は戒厳令宣布以後の自らの行動の違法性を認めず、弾劾反対で党論を統一した与党「国民の力」は国会で多数を占める野党に強硬に対峙した。紆余曲折を経て憲法裁判所による弾劾審査は12月27日に開始されたものの、一連の事件の捜査に当たる高位公務員犯罪捜査庁による捜査は、尹の拘束令状執行が大統領警護庁の抵抗によって1月3日に中止した後、膠着状態に至っている。



「籠城」する尹を守る大統領警護庁の職員(1月8日)

大統領が自らの官邸に「籠城」を続けるなか、韓国世論も変化しようとしている。世論調査会社リアルメーターによれば、「共に民主党」と「国民の力」の支持率の差は、大統領弾劾訴追案が国会で可決された12月第2週には52・4%対25・7%とダブルスコアに近い状態まで開いていたが、わずか3週間後の1月第1週には45・2%対34・4%まで縮小した。この与党の支持率は尹が戒厳令を宣布する直前の調査をわずかながら上回る。尹と与党は戒厳令宣布と大統領弾劾のダメージから急速に立ち直りつつあるように見える。

世論の変化は、抵抗を続ける大統領に対する見方においても同じである。リアルメーターによれば、尹の逮捕を支持する人は54・4%だが、これに反対する人は44・5%にも達している。依然として

大統領への迅速な処罰を求める声が多数であるものの、その差はもはやわずかになっている。

それでは、このような韓国世論の急速な変化をもたらしたものは何か。明らかにのは、弾劾訴追案可決の後も大統領代行を務めていた首相を弾劾するなど、強硬な姿勢に終始する野党、とりわけその代表である

李の政治指導に対する忌避感情であろう。選挙法違反をはじめとする数々の嫌疑を抱える李の、自らの事件の判決が出る前に大統領選挙を実施したい、という思惑がその性急な行動の背景にあるのは明らかだ。そのあまりに政治的野心をむき出しにした行動が、逆に保守派を尹と与党の下に結集させている。

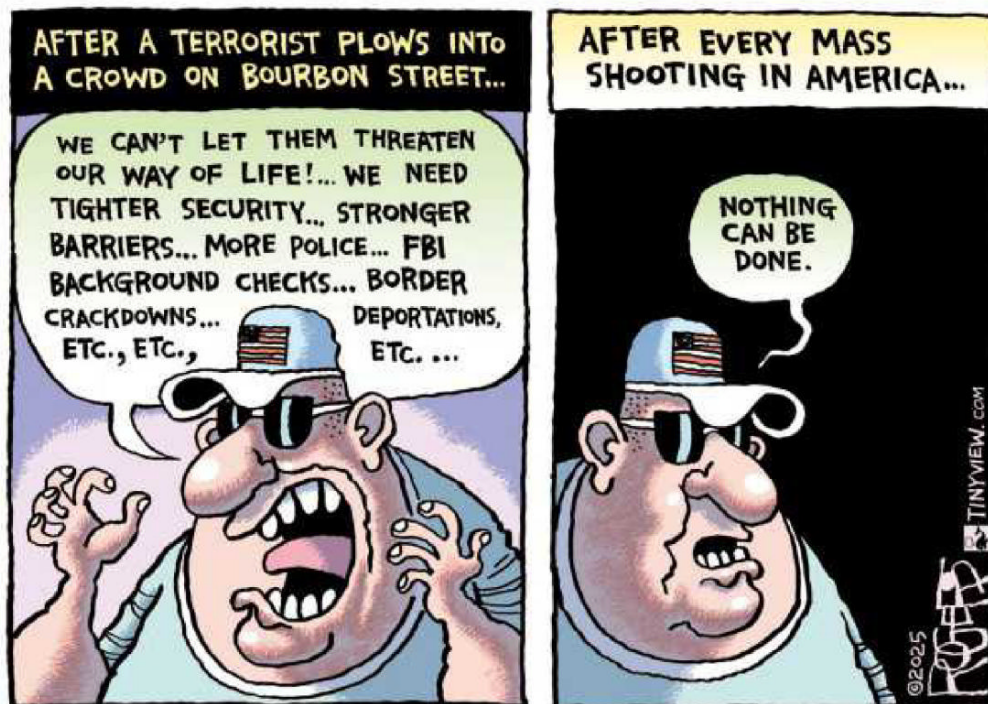
そして、ここから分かることがある。それは程度の差こそあれ、こと法的な手続きを軽視して、自らの政治的利益を拙速に追求しようとしている、という点においては、韓国の与野党が実は同じ方向性を有している、ということである。

大統領は憲法の規定を無視して戒厳令を宣布し、国会の閉鎖を試み、野党代表は法的処罰の結果として公民権を失うことを避けるために、裁判の結果が出る前に自らの大統領就任を模索する。そこで犠牲にされているのは、この国における「法の支配」であり、それに支えられた民主主義である。大統領官邸の前では、今週も大統領支持派と反対派のデモが行われる。寒いソウルの冬空の下、国民が自ら路上に立ち民主主義を守らなければならない状況は、誰にとっても決して歓迎すべき状況ではない。そのことだけは繰り返し確認しておくべきだ、と思う。



KAN KIMURA

神戸大学大学院教授。専門は比較政治学、朝鮮半島地域研究。『韓国愛憎——激変する隣国と私の30年』、『日韓歴史認識問題とは何か』(読売・吉野作造賞)など著書多数。



Strange Logic

凶器の違いで狂気になる人々

画: ロブ・ロジャース(風刺漫画家) / 文: パックン(コラムニスト、タレント)

ニューオーリンズ市は由緒あるパーティー・シティーだ。1718年の設立当初はフランス領だったため、中心の通りはブルボン王朝にちなんでバーボン(ブルボン)ストリートと名付けられた。今や王朝よりもウイスキーのほうのバーボンを彷彿させる、名だたる飲み屋街だ。

毎年大みそかには、この通りで大勢のパーティー・ピープルがワイワイ幸せに年を越すのだが、今回はとんでもない不幸が訪れた。元旦の午前3時過ぎにテロリストが大型のピックアップトラックで群衆に突っ込み、14人の命を奪った。ニューオーリンズは長い歴史の中でも類を見ない、悲しい年明けを迎えた。

風刺画は事件後の反応にスポットを当てている。星条旗の帽子とその下からのぞく刈り上げた側頭部、それに怒り狂っている態度から保守派の戯画化と思われる男性は1コマ目でいろいろな対策を熱く呼びかけている。合理的なものもあれば、今回の事件を防ぐには無意味なものもある。例えば、stronger barriers(より頑丈な防護壁)は重要。数年前から車を使った攻撃が懸念され、防護壁の設置が推奨されていたのに、それが実施されていなかったことが今回指摘されている。

一方、ドナルド・トランプも事件後に呼びかけたborder crackdowns(国境の取り締まり)は関係ない。今回の犯人はアメリカ人の退役軍人。過激派組織「イスラム国」(IS)のシンパのようだが、国境を越えて入国したわけではない。どうせなら

以前からやりたかった政策を推そう!という計算か、それとも単なる口癖なのか。とにかく無意味な策なのは間違いない。

再発防止策が次々と提案される「今回」と対照的なのは、銃乱射事件が起きる「毎回」だ。凶器が車でなく銃だと、保守派は黙り込む傾向にある。逆に、銃購入時のFBI background checks(FBIによる身元調査)などの規制が提案されると「悲惨な事件を政治的に利用するな!」と猛反発するのだ。今回と変わらない、無惨な大量殺人事件なのに、なぜ合理的な対策も反対するようになるのか? 凶器の違いで狂気になる?

ニューオーリンズは強い。悲劇的な事件が起きても、バーボンストリートは翌日から活気を取り戻した。銃規制を毛嫌いする皆さんも早く正気を取り戻してほしい。

N

ポイント	<p>AFTER A TERRORIST PLOWS INTO A CROWD ON BOURBON STREET... バーボンストリートでテロリストが群衆に突っ込んだら…</p> <p>WE CAN'T LET THEM THREATEN OUR WAY OF LIFE!...WE NEED TIGHTER SECURITY... STRONGER BARRIERS...MORE POLICE...FBI BACKGROUND CHECKS...BORDER CRACKDOWNS...DEPORTATIONS, ETC., ETC., ETC. ...</p> <p>私たちの生活が脅かされてはならない! …警備強化が必要だ…より頑丈な防護壁…警察の増員…FBIによる身元調査…国境取り締まり…強制送還…などなど</p>	<p>AFTER EVERY MASS SHOOTING IN AMERICA... アメリカで銃乱射事件が起きると…</p> <p>NOTHING CAN BE DONE. 何もできない。</p>
------	---	---

Special Report

DONALD TRUMP

米政治 間もなく米大統領に再任するドナルド・トランプ
ウクライナ戦争や対ロシア・中国関係、移民、関税……
第2次政権の外交・内政・経済で起きること

グレン・カール

(本誌コラムニスト、元CIA工作員)

MORE BRUTAL

ールドの展開を読む

2

016年の11月、ドナルド・トランプが初めて大統領選に勝利したあの日、私は仕事でウガンダの首都カンパラにいた。翌朝、ウガンダ軍情報部に所属する仲間がやって来て皮肉ながらも善意に満ちた言葉をかけてくれた。お望みならいつでも「政治亡命」を受け入れるぜ、と。

2カ月前にトランプが再び大統領に選ばれたときはベトナムの首都ハノイのホテル・メトロポールにいた。第1次インドシナ戦争中の1953年に作家グレアム・グリーンが投宿していて、現地の解放勢力が手榴弾を投げ込んでくるなかでフランスの高級ワインをすすり、時にアヘンに救いを求めている場所。彼がアメリカ人の悲惨な自己欺瞞に気付き、あの名作『おとなしいアメリカ人』の構想を練っていた場所だ。

トランプならきっと「アメリカを再び偉大に」してくれる。2カ月前に投宿していたアメリカ人の中には、

喜々として言う人もいた。でも私の目には70年前のグレatham・グリーンの亡霊が見えた。トランプ2期目のアメリカ(と、この世界)はどうなっていくのか。以下、ポイントごとに予測してみよう。

■条約も協定もただの紙切れ

世界中の国々はアメリカの指導者の弱腰に付け込んで利益を得、あらゆる国際機関はアメリカの自由と権力、富に縛りをかけている。トランプはそう信じて疑わない。

1945年以降の米外交の軸となってきた同盟関係や国連以下の国際機関、TPP(環太平洋経済連携協定)や気候変動対策のパリ協定も、トランプの目にはただ弱小国(つまりアメリカ以外の国)がアメリカを食い物にする手段と映る。

だから、ホワイトハウスに舞い戻れば再びパリ協定から離脱することだろう。脱退まではしなくても、WHO(世界保健機関)や国連の権限や影響力を弱めようとするだろう。

NAFTA(北米自由貿易協定)に代わるUSMCA(米国・メキシ

NASTIER AND

再来するトランプ・ワ

コ・カナダ協定)は2026年に再交渉の時期を迎えるが、トランプはこれを見直すか弱体化させると公言している。そもそもUSMCAは1期目のトランプ政権が、力ずくで押し付けた協定なのだが。

第2次大戦後のヨーロッパに安定をもたらした要の存在として「史上最高に強力で成功した同盟」と評されるNATO(北大西洋条約機構)も無事ではいられない。加盟諸国を関税が襲うし、国防支出を増やさなければアメリカはおまえたちを守ってやらないという脅迫が来る。

1期目にも言っていたことだが、トランプはNATO加盟国に対する集団防衛の義務を果たす義理はないと思っている。NATOの一員でも国防予算をGDPの5%まで増やさないような国に対しては「ロシアの好きなように」させてやることも述べた。こうなるとトランプのロシアとの関係は反逆罪に相当するのではないかと、筆者を含めた課報・外交のプロは考えている。

何事もゼロサムゲームとわきまえるトランプは2国間の交渉を好む。



もしもウクライナとロシアの戦争に関して、トランプがウクライナの頭越しに、ロシアの大統領ウラジーミル・プーチンとダイレクトに交渉を始めたらどうなるか。それでもウクライナへの支援を続けるか、ロシアへの経済制裁を維持するか、欧州諸国は難しい政策判断を迫られるだろう。もともとロシア寄りのハンガリーとスロバキアは、NATOと決別する道を選ぶかもしれない。

EU（欧州連合）も結束を保つのに苦労するだろう。関税を「辞書の中で最も美しい言葉」と呼んではばからないトランプは、EU加盟国にも個別に「報復」的な関税その他の制裁を課すと脅している。アメリカから見て「不正」な貿易慣行や貿易収支の不均衡、さらにはデンマー

ク領グリーンランドの売却拒否も報復関税発動の理由となり得る。そうやって揺さぶられると、EU諸国の結束にもほころびが生じかねない。

2 国間関係の「肝」は中国

2 国間関係で最重要なのは中国との関係だ。既に陰悪だが、さらに悪化する恐れがある。トランプはアメリカの雇用と産業を中国が「盗む」のを阻み、米中貿易の不均衡を是正するために中国からの輸入品全てに60〜100%の関税を課すと豪語しているが、実際には品目ごとの取引になるだろう。

品目によって一定の輸入量は許容する可能性がある。あるいは、双方が勝利宣言できる程度の経済協定を結んで、根源的な貿易不均衡や安全保障の問題にはふたをするという選択肢もある。

日本も関税攻撃を覚悟すべきだ。トランプは1990年代に、「日本はアメリカを笑っている」とよく語っていた。笑わせないために関税をかけ、譲歩を引き出し、特定の品目については交渉次第で妥協する。それがトランプ流だ。

トランプは条約や同盟関係を嫌う孤立主義者でもあるから、日本や韓国、オーストラリアなどの安全保障上の約束を歴代の大統領ほどに守ると思えない。中国の外交的・軍

事的な横暴にどう対処するかも不透明だ。恫喝や威嚇はするだろうが、その先の出方は分からない。

ロシアや中国と並んで「新たな悪の枢軸」を構成するイランと北朝鮮について、トランプはかねて「最大の圧力」政策を提唱してきた。圧力をかければイランの核兵器開発も北朝鮮の核・弾道ミサイル開発も阻止できると信じているからだ。

しかし、現実には逆効果だった。イランの中東における代理勢力はイスラエルとの交戦で骨抜きにされたし、イランが通常兵器でイスラエルに勝てないことも明白になった。だからこそ、あの国は核兵器の開発に一段と力を入れている。トランプは「最大の圧力」を呼び続けるだろうが、結果は一段の緊張激化と軍事衝突のリスク増大だろう。ただし現在のイランは経済的にも困窮してお

り、政権基盤も揺らいでいる。くすぶる社会不安が火を噴けば、政権崩壊の可能性もある。

「力こそ正義」の国際秩序

孤立を好み、敵を増やし、一国主義のトランプ外交の行き着く先は世界的な保護主義の台頭と国際機関の衰退だ。関税攻撃の程度にもよるが、アメリカを含め世界中で物価が上がり、経済成長率は鈍化またはマイナスに転じる。株価は下がり、国際協力は衰退する。

規範とルールに基づく国際社会のシステムは、ついに引き裂かれるだろう。これまでのアメリカは擁護者だったが、これからのトランプは一貫して国際社会を敵視し続ける。

アメリカは今後も地球上で最も影響力のある国であり続けるだろうが、既に世界は複数の大国が競合する多極化の時代に入っている。強固な同盟関係や国際機関がトランプの孤立主義で弱体化すれば、東欧や中欧の近隣諸国を抱き込んで「大ロシア圏」を構築するというプーチンの夢がかなう可能性もある。

中国は既にアメリカと並ぶ超大国だが、アジアと西太平洋における優位性を一段と強固なものにし、自国を中心に据えた独自のルールと制度を押し付け、アジアと西太平洋に君臨する帝国を樹立しかねない。



台頭する未来の超大国インドは、いわゆる「グローバルサウス」の旗手を自負するだろうが、現実には世界の弱小国を束ねて欧米先進国や中国、ロシアとの交渉で有利な立場を確保しようとする一方、既存の国際機関のもたらす恩恵には「ただ乗り」を続けることになろう。

トルコやサウジアラビアのような地域大国は、ひたすら自国の利益を追求しつつ、中東以外の地域への影響力拡大を模索することになる。

世界の弱小国や貧困国の一部には、人権や民主主義に関する国際規範を気にしないトランプを歓迎する国もあるだろう。しかし今の国際社会が小国に与えている不完全ながらも現実的な保護や支援が失われることになれば、誰もが傷つく。

こうした傾向は2000年頃から見られるが、トランプはこれを加速させる。1945年以降のどの時期よりも力こそが正義となり、国際社会はより冷淡かつ残忍になる。

■減税すれば赤字は増える

私が見るに、トランプの言動は全て注目を集めたい一心から出ている。特段の主義や主張は持たないながら、内政面では共和党の保守的な政策をどんどん取り込んでいる。共和党なくして彼の権力はないからだ。結果、トランプの国内政策は明快だが支離



減裂なものになっている。

選挙戦では、もっぱら不法移民の問題を訴えた。「国家非常事態を宣言し、軍隊を動員してでもバイデン時代の移民の侵略を止め、(何百万もの不法移民を)ごっそり強制送還する」とも約束した。

彼らを追い出せばアメリカの労働者が抱える社会・経済的ストレスは軽減されるとトランプは信じている。だが現実には、そういう移民こそがアメリカに必要な労働力を提供し、経済を支えてきたのだ。

トランプと共和党は減税と財政赤字の削減、そして経済成長の妨げとなる規制の緩和を公約している。だがトランプの求める減税を実行すれ

トランプの世界

(上から)メキシコ国境で移民の強制送還を訴え(24年)、タイム誌の「今年の人」に選ばれればニューヨーク証券取引所の鐘を鳴らし(24年)、ロシアのプーチン大統領と語り合う(18年)

ば財政赤字はさらに4兆^{ドル}以上も積み上がるはずで、共和党が最優先課題とする財政赤字の削減には明らかに逆行する。そもそも1期目のトランプ政権の減税だけで連邦政府の債務

は40%(金額では8兆^{ドル}以上)も膨れ上がった。しかも減税による恩恵の83%を得たのは、全世帯の1%にすぎない最富裕層だ。

トランプが万能薬と信ずる関税も、事実上は新たな連邦レベルの消費税に等しく、物価上昇で国民に年間1700^{ドル}程度の新たな負担を強いることになるという。経済学をかじった人なら知っているはずだが、輸入品にかかる関税を払うのは国内の消費者であり、外国にいる生産者ではない。

「雇用を奪う膨大な数の規制を削減する準備を進めている。新しい規制を1つ定めるごとに10個の古い規制を撤廃する」。トランプはそう言っ

ているが、トランプ政権1期目の実績を見ると、確かに規制の増加ペースは落ちていたが、それでも撤廃した数の2倍の新たな規制が導入されている。

工業部門に対する排ガス規制を緩和すれば企業は潤うが、住民の健康被害が増えて医療費が膨らむ。それでいいのか? いずれにせよ規制緩和は難しい仕事であり、その効果はゆっくりと、漸進的にしか表れてこないものだ。

ともあれトランプには排外的で保護主義的・孤立主義的な道しかない。そして自分に服従しない者は容赦しない。アメリカ政治の分断は進み、もっと麻痺していく。絆はどんどん薄れていく。客観的な事実も偽情報も洪水に溺れ、公的機関や民主主義への信頼は溶け落ちる。それでもトランプはこうしてこそ「アメリカを再び偉大に」できると叫び続けるだろう。

あの日、トランプ勝利の一報を聞きながらハノイのホテル・メトロポールで飲んだワインは、少し軽めだが優しく、まろやかだった。あれは70年前の夢破れたアメリカ人にささげるエレジーだったのか、それとも今の私たちは諦めずに戦い続け、いつの日か本当に「アメリカを再び偉大に」してみせるという苦い決意の味だったのだろうか。

■

アメリカの「国家安全保障」と「自由世界」のために、グリーンランドとパナマ運河を獲得するなら、軍事行動や経済的措置の選択肢も排除しない」。ホワイトハウスへの復帰を約2週間後に控えたドナルド・トランプ次期米大統領が、そう記者団に語ったのは1月7日のこと。たちまち世界中から非難の嵐が巻き起こったのは驚きではない。

もちろん、武力によって外国の領土を奪うことをほめめかすなど言語道断だが、このときトランプが指摘した懸念の多くは正当なものであり、むしろ歴代大統領が取り組んでこなかったことが不思議なほどだ。

地球温暖化により北極圏航路の現実味が増すにつれ、ロシアと中国の船舶（軍用船を含む）が北極圏を経由して、ヨーロッパとアジアを行き



A UNIPOLAR WORLD?

「領土奪取」をあえて唱える理由

外交 グリーンランドとパナマ運河の獲得を突然ぶち上げたトランプ2期目の外交政策に3つの基本戦略あり？

練乙錚(リアン・イーゼン、経済学者)

来するケースは増えている。

中国はさらに、グリーンランドに3つの空港を新設または整備することをもくろみ、2019年に米国防総省に阻止されていたことも明らかになった。それでもレアアース（希土類）を採掘するための、中国の積極的な投資は続いている。

カーター政権の大きな間違い

グリーンランドはデンマークの自治領で、防衛はデンマーク軍の統合北極圏司令部に頼っている。その構成は兵士130人、犬ぞりチーム6つ、航空機1機、ヘリコプター2機、哨戒艇7隻という簡素なもの（フリゲート艦1隻が加わることもある）。日本の6倍の面積を持ち、赤道の長さにも匹敵する複雑な海岸線を持つ島と周辺海域を守るには、ばかばかしいほど不十分だ。

パナマ運河は、アメリカにとって直接的な重要性ははるかに高い。なにしろアメリカ発着の貨物船の40%が利用するほか、大西洋と太平洋の間で「配置換え」をする米海軍艦のほぼ100%が通過するのだ。

20世紀初めにアメリカの資本で建設されたパナマ運河は、長らくアメリカの管理下であり、両岸にはいくつもの軍事施設が建設された。ところが1977年、良心的なジミー・カーター大統領が米議会の反対を押

本気かも
(右)息子ドナルド・トランプ・Jr.がグリーンランドを訪問／(左下)パナマ運河奪還の意欲とともに2期目のトランプ政権は内向きではなく拡張主義に転換する可能性がある



し切り、わずかに1ドルの対価でパナマ政府に運河の主権を返還した。

だが今は、中国がアメリカに次ぐ運河の利用国となっている。それを反映して、パナマ政府は2017年、それまで承認していた台湾との外交関係を断絶して、中国との国交を樹立した。現在、香港の海運最大手ハチソン・ワンポアが、運河のカリブ海側玄関と太平洋側玄関に位置する港の独占的管理権を保有する。カーターの措置に反対した面々には、先見の明があったのだ。

そうはいっても、トランプが実際にグリーンランドとパナマ運河を獲得する可能性はどのくらいなのか。

「中国の脅威」が口実に?

人口5万6000人ほどのグリーンランドは民主的な自治政府があるとはいえ、その行政は年間5億100万ドル相当のデンマークの補助金が頼りだ。それでも独立の機運があるのは確かだ。(デンマークはそれを止めようとはしていない)、アメリカが何らかのインセンティブを与えれ

ば、アメリカとの連合(あるいは併合)を問う住民投票が行われる可能性はないとはいえない。

パナマ運河については、カーター政権が当時のパナマ政府と結んだ新パナマ運河条約の第4条に、恒久的に中立の運航を保証することが定め

られている。トランプはこの条項に基づき、「中国の脅威に對して運河の中立を維持する必要がある」として、アメリカへの主権返還を要求するかもしれない。アメリカはジョージ・H・W・ブッシュ大統領時代の1989年にパナマに侵攻し、麻薬密輸容疑で米当局に指名手配されていたパナマの指導者を逮捕した。たとえ今、トランプが同様のこととしたとしても、日本や韓国、

チリ、カナダなどの運河の主要利用国は、強く抗議するメリットをさほど見いださないだろう。

1期目のトランプはアメリカのこのだけを考えて、外国のことには関与したがない「孤立主義者」と非難されることが多かったが、最近では正反対の概念である「帝国主義者」と批判されることが増えている。これはある意味で正しい批判だが、トランプだけの話ではない。いつの時代も、アメリカの振る舞いには帝国主義的な要素があった。

トランプは2期目の外交政策とし

て、3つの基本戦略を固めた可能性が高い。すなわち①アメリカを強化する。②ヨーロッパでは左寄りの政府を威嚇してアメリカに従わせる一方で、右派が政権の座に就くのを後押しし、ロシアを中国から引き離す。③孤立して劣勢に立たされた中国をたたき。それによって21世紀版パックス・アメリカーナ(アメリカによる平和)を実現しようというのだ。

だが、トランプのアメリカに、それを実現する手段はあるのか。

長年にわたり世界は多極化しているといわれてきた。だが、実際にはアメリカ以外の勢力が「極」と呼べるほど強力になることはなかった。EUのGDPは中国と同レベルで、アメリカの3分の2程度だ。ロシアのGDPはブラジルよりも少ない世界11位。さらに、アメリカの労働者は世界でも指折りの生産性を誇り、中国の労働者の6・8倍にもなる。

こうしたことは全て、世界が再びアメリカ一極の時代を迎えつつあることを明確に示している。トランプが大胆にもグリーンランドやパナマ運河に食指を動かすのは、その表れかもしれない。そしてトランプには、その壮大な構想を実現するチャンスが巡ってきているのかもしれない。

もちろん、それが世界にとって良いことかどうかは、大いに議論の余地があるが。



DEPORTATION DEBACLE

最大の強制送還で経済は失速

不法移民 トランプが軍を出動させてまで実施すると誓った
「外国人労働者2000万人排除」計画は自滅の道？

「アメリカ史上最大の強制送還を実施する」——ドナルド・トランプ次期米大統領はそう誓っている。不法移民を一掃するためにはカネに糸目をつけないというのだ。しかし移民排除の経済的代償を考えると、作戦実施は自滅の道につながりかねない。大統領選でトランプは移民問題の早期解決を掲げて有権者の圧倒的な支持を得た。1500万〜2000万人をアメリカから追い出すとまで豪語したこともあるが、J・D・バンス次期副大統領は「手始めに最も暴力的な犯罪者である100万人」を送還すると述べている。

だが新政権発足後に、こうした計画を実施するとすると、ロジスティクス面に加え、法的、政治的、財政的な障壁に直面することになる。実際にどれだけのことを、どれほど迅速に行えるかは疑問だ。しかし仮にトランプが公約に近い規模の送還を成し遂げたら、米経済は大打撃を受けるとエコノミストらは警告する。

「人道的、法的な問題はさておき、（大量送還は）経済に破壊的な影響を及ぼすだろう」と、米シンクタンク・ピーターソン国際経済研究所のアダム・ポーゼン所長は言う。「有権者がそれを十分に理解

しているとは思えない」

アメリカにいる不法移民は推定1100万人前後。アメリカの労働力人口の5%近くを占め、特に農業、建設、レジャー・接客部門で大きな割合を占めている。2017年時点で、不法移民の約66%が10年以上アメリカで生活し、不法移民の親の下でアメリカで生まれた未成年者（市民権を持つ）は約440万人に上ると報告されていた。

消費者・納税者としても貢献

不法移民は働き手であり消費者でもある。そんな人たちをごっそり追い出せば、米経済に直接的・間接的影響が及ぶのは目に見えていると、取材に対してエコノミストらは口を

そろえる。

「何百万もの人たちが大量送還すれば、アメリカ人労働者の雇用機会は増えるどころか減り、アメリカの経済成長は鈍り、物価は急上昇し、財政赤字が増えるため納税者の負担は増すだろう」と、ジョージ・メイソン大学のマイケル・クレメンズ教授（専門は国際移住）は言う。

トランプは大量送還を実施するためには、非常事態宣言を発令し軍を投入することも辞さないと言明している。1期目のトランプ政権で移民政策を取り仕切り、次期政権では政策担当大統領次席補佐官を務めるとみられるステイーブン・ミラーはアメリカ中の職場の強制捜査を監督し、送還対象者を収監する「巨大な収容



施設」を（おそらくはテキサス州に）建設すると述べている。

1期目のトランプ政権では移民関税執行局（ICE）の局長代理を務め、2期目には国境管理を仕切ることになるトム・ホーマンはFOXニュースの番組で「ICEの手枷を外し」、手段を選ばず不法移民の流入を阻止できるようにすると語った。

だが大量送還には巨額の資金がかかる。バンスは年間100万人の送還を示唆しているが、それだけの数の不法移民を逮捕、拘束し、法的手続きを取って本国に送還するには、毎年およそ880億ドルの予算が必要になると、移民支援団体・米国移民評議会は見積もっている。

経済的コストはそれだけではない。不法移民は米経済を支える重要な働き手で、特に農業部門では過去30年間を通じて農場労働者の40%を占めてきた。彼らはアメリカ人がやりたがらないような仕事を（しかも多くの場合は低賃金で）担っているのだ。

不法移民は消費者としても経済に大きく貢献し、連邦政府の社会保障制度の恩恵をほとんど受けられないのに、納税義務も果たしている。

「彼らの経済的貢献、生産性、税金を失うという間接的なコスト」を考慮すべきだと、シンクタンク・移民政策研究所の米移民政策担当ジュリア・ジェラットは指摘する。

22年には不法移民は連邦、州・地方自治体に総額およそ967億ドルの税金を納め、その半分以上は連邦政府の税収となったと、シンクタンクの税制・経済政策研究所は報告している。

ただし、不法移民の納税は「連邦政府には大いにプラス」になるが、州や地方自治体レベルでは事情は異なると、ブルッキングス研究所のエコノミスト、ウエンディ・エデルバーグは言う。州・地方自治体の税収はあまり増えないのに、教育や救急医療など必要な支援の提供を迫られるからだ。

こうした事情も受け、バンスらは不法移民を排除すれば住宅価格の高騰も収まり、雇用機会も増えて、アメリカ人にとっては良いことだらけだと主張する。低賃金で働く不法移民はいわば「賃金ダンピング」をしているが、彼らがいなくなれば企業はより高い賃金でアメリカ人を雇わざるを得なくなる、というのだ。

GDP伸び率が大幅に低下

「アメリカ人はそういう仕事をやりたがらないと言うが、不当に低い賃金が嫌なだけで、まともな賃金なら喜んで働く」と、バンスは昨年10月にニューヨーク・タイムズに語った。



米経済の柱
不法移民の排除で全てが良くなるような幻想が広がった（昨年7月の共和党全国大会）

だが過去の事例を見ると、アメリカ人の労働環境は改善されるどころかむしろ悪化しかねない。コロラド大学デンバー校のアンドレア・ベラスケス准教授（経済学）らは、40万人以上の不法移民を強制送還したオバマ政権の政策の効果を検証し、大量送還が労働市場に与えた影響を調べた。

結果、50万人近い不法移民が強制送還かそれに関連した事情でいなくなると、アメリカ生まれの労働者4万4000人が失業していたことが分かった。なぜか。不法移民の大量送還で労働力が不足し、「人件費が上がって、製造コストが上昇した」ため企業の経営が圧迫され、波及効果でアメリカ人労働者が職を失った

と、ベラスケスは説明する。影響を受けるのはアメリカ人労働者だけでなく、米経済全体にしわ寄せが及ぶと考えられる。

ピーターソン研究所の分析によれば、トランプ政権が130万人の不法移民を強制送還すれば、28年までにGDPの伸び率は1・2%低下し、より大規模な計画実施で830万人が送還されれば、実に7・4%も低下するという。

いずれの場合も、大量送還で物価はさらに上昇し、特に農業部門が大打撃を受けると予測されている。

米経済を支える柱を1本引き抜けば、揺れがどこまで広がるかは想像に難くない。

クリスティーナ・ルーラオリソンポリシー誌記者

ALEX WONG / GETTY IMAGES



黙っていない トランプの挑発にメキシコのクラウディア・シェインバウム大統領はどう反撃？

TRUMP'S WAR ON MEXICO メキシコとの対立で チャンスを得るのは中国

新貿易戦争 脅しとディールの落とし穴
アメリカ・ファーストが米経済の首を絞める

することも考えられる。

トランプは昨年11月の大統領選当選後、メキシコとカナダから薬物などの流入が止まるまで、両国からの全ての輸入品に25%の関税を課すと宣言した。これにはメキシコの安価な労働力を利用して企業をアメリカに引き戻す狙いもあるが、メキシコ市場に依存している米企業への影響を無視している。

まず、報復関税合戦は両国の消費者にインフレをもたらす、北米市場の統合が混乱するだろう。NAFTA（北米自由貿易協定）と

トランプ前政権が主導したUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）により関税が撤廃され、北米の市場と生産は相互のつながりを深めてきた。メキシコの投資障壁は大幅に軽減され、米企業は農業やエネルギーなどの分野に積極的に投資できるようになった。

中国製品の排除が不要に

協定を破棄すれば、次の投資を米国内に向けさせることができるかもしれない。しかし、メキシコが関税や事業税、投資制限で対抗した場合、

既にメキシコ国内にある農場や工場はどうなるだろうか。

国境と移民の問題については、メキシコ政府は南部国境の警備に多大な資源を投じており、アメリカを指して北部の都市に集まる人々の対応にも力を入れている。こうした取り組みと引き換えに、アメリカにさらなる支援を要求できるだろう。

トランプの主張を聞く限り、メキシコの主権にはあまり関心がなさそうだ。麻薬密売組織に対抗するためメキシコ国内で米軍を展開するという提案は、明らかにメキシコを激怒させるだろう。

両国の関係悪化から利益を得そうなのが中国だ。中国はメキシコを含むほぼ全ての中南米諸国にとって、第1位か2位の貿易相手国である。NAFTAやUSMCAの原産地規則は、メキシコの中国からの輸入の伸びをいくらか抑制してきた。

アメリカとの貿易戦争が勃発すれば、メキシコが中国製品を排除するインセンティブは弱まる。関税や敵対的な発言によりアメリカの門戸が狭まれば、メキシコ企業にとって、中国の自動車部品や金融サービスはこれまで以上に魅力的に映るだろう。

つまり、トランプが脅しを実行して新たな貿易戦争が起きれば、中国にとって新たな好機が生まれるのだ。スコット・モーゲンスタイン（ピッツバーグ大学教授）

大打撃を受けかねない。

3つ目は、米軍をメキシコ国内で展開して麻薬密売組織と対峙すると言い出していることだ。これはメキシコの主権を侵害し、国境の両側でさらなる暴力を生む恐れがある。

メキシコの対抗手段は、麻薬と移民問題における協力関係を解消し、メキシコからも関税を課すことだ。国内で米企業を長年、優遇してきた税制や労働関連の措置を一部、撤回

ドナルド・トランプ次期米大統領は「アメリカ・ファースト」をさらに強化する意欲を見せており、メキシコは確実にその矛先となりそうだ。トランプの政策がメキシコにもたらす脅威は主に3つある。1つ目は不法移民の強制送還だ。送還された自国民の受け入れは、メキシコの経済と社会に多大な負担となるだろう。2つ目は関税の大幅な引き上げで、メキシコ経済の要である輸出部門が

今

から約8年前、2016年11月にドナルド・トランプの大統領当選の報が東京に伝えられた日、国連事務次長を務められた明石康氏が昼食に誘ってくれた。

明石氏は開口一番、「これからアメリカの白人の復讐が始まるので」と言われたが、昨年の米大統領選もまさにその再現だった。明石氏に招待されたのは東京・麻布にある日本の財閥系の、少なくともその時点では女性が正式会員になれないクラブで、このことは差別の問題が日本でも避けて通れないことを示唆していた。

差別の風習には、差別する側に有利なものが多い。そのような風習をそのまま保つことが有利なグループは、世の中に目立って票を集める能力のある候補者が現れると、その候補者によって差別の仕組みを守ろうとする。

昨年の大統領候補者トランプは、証拠もないのに選挙の不正が行われたと称して米議会に暴徒が闖入するのを助けるといふ民主政治の基本を犯しながらも、選挙民の人気を失わなかった。彼は現職の大統領は訴追できないという合衆国憲法と、自分が任命した米最高裁メンバーに守られて2期目を務めることになる。

なぜ、民主主義の原則を信奉する

JAPAN'S SHOCK THERAPY

ショック療法が 日本経済には必要だ

正念場
植田日銀は政策金利を引き上げる「ショック療法」に踏み切れるか



視点

過度の円安にどう対応すべきか？
アベノミクス推進論者が
「イシ・トラ」時代の
日米経済関係を読む

浜田宏一

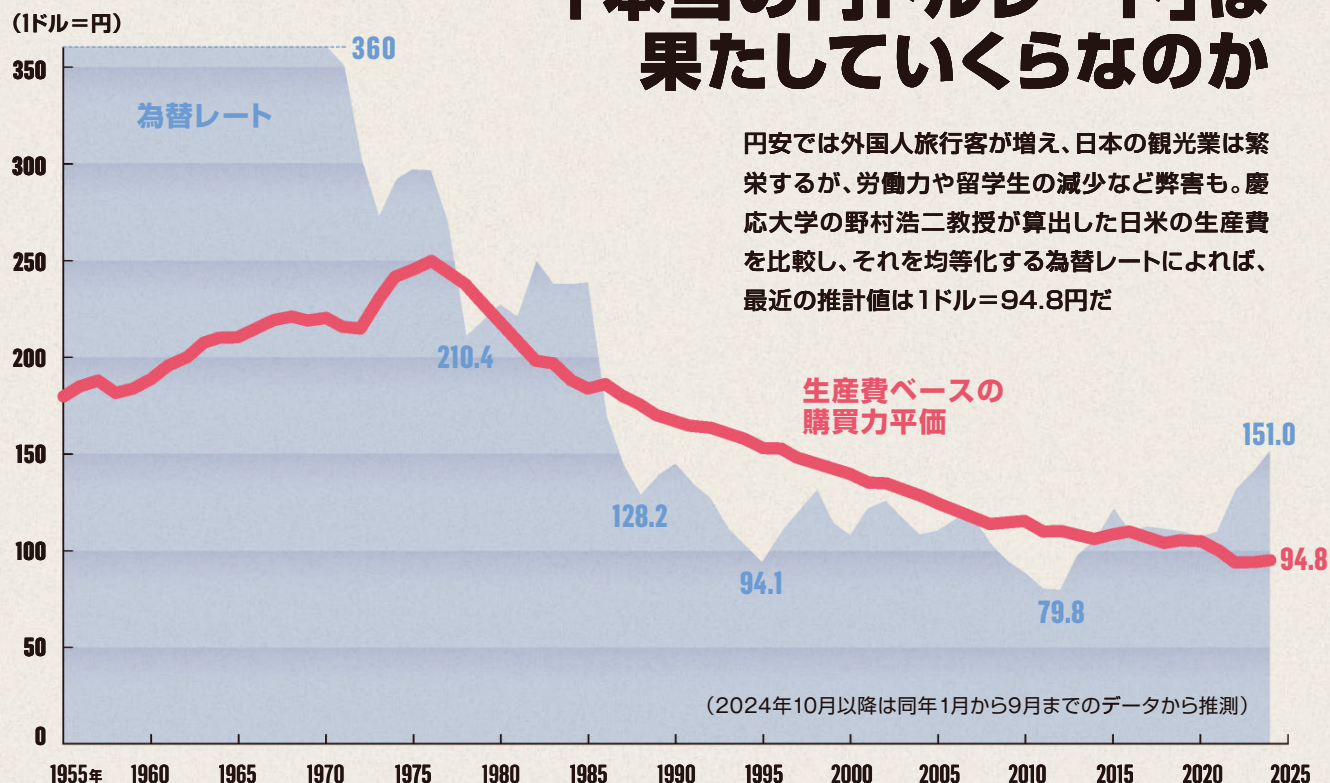
(元内閣官房参与、米エール大学名誉教授)

者から見ても、信じ難い事態が生じたのだろうか。1つの理由は、人はインフレ率を目標に行動するのではなく、昔の価格水準と今の物価水準を比べて暮らしへの影響を見ているからである。

トランプが新型コロナ禍を無視したり対応に遅れたりしたのに比べ、ジョー・バイデン大統領はコロナに

精力的に対応した。しかしトランプの金持ち優遇策にバイデンの弱者保護政策が加わった結果、トランプ時代には10ドルあれば十分、簡単な昼食が食べられたのに、バイデンになるとその2倍かかるといった状態が2023年後半に生じた。そこで「トランプのほうが経済は上手だ」といった印象が生まれた。

「本当の円ドルレート」は果たしていくらなのか



資料: 慶応大学産業研究所・野村浩二教授

金利引き上げにより、当時の金融環境に慣れ切っていた市場に衝撃が走った
しかし、**ある程度のショック療法**も時には必要なのである

コロナ禍で帰国できず、先日4年ぶりにアメリカから帰った私も、東京の物価が上がっているのに驚いた。日本の観光業の繁栄はよいが、建築労働者などの人手不足、留学生や研究者がアメリカ行きを諦めることなど円安の弊害はいろいろなところに見られる。

慶応大学産業研究所の野村浩二教授は日米の生産費を比較し、それを均等化する為替レートを算出している。それによれば、最近の推計値は1ドル=94.8円であるという。日米の為替レートは、1ドル=150円前後で変動しているが、日本で生産されたものは現在の価格より50%以上高くアメリカで売れることを示している。日本製品や観光業はバーゲンの状態であり、逆に日本からの旅行者、留学生はドル高に苦しむ。

「強いアメリカ」と円安傾向

石破茂首相とトランプ大統領の下ではどのような日米の経済関係が予想されるだろうか、

第1に、トランプのアメリカは各国の防衛は各国に任せるという孤立主義の傾向を強めるであろう。いまアジアには中国や北朝鮮の軍事力拡大、そして台湾の問題など日本にとっての脅威が多いが、「アメリカはいつまでも他国の守り神ではない、各国も自前で守れ」という要求が米側から提出される公算が強い。日本も自主防衛能力を高め、財政負担を増加することを求められる。

第2に、大統領の姿勢が「強いアメリカ」を目指すを受け取られるとドル高、つまり円安の傾向が強くなるかもしれない。確かにアベノミクス以前のデフレ、不況を招いたように継続的な円高も望ましくないが、逆に現在のように極端な円安も日本投げ売りに近く、将来的なインフレの危険も大きい。

変動制の世界で名目為替レートを基本的に決定できるのは当該国の金融政策、つまり円ドルの場合には日米の通貨政策である。

アベノミクス、そして異次元金融緩和以前の日本経済は、日本から生産品を輸出しようとしても外国で売れない状態だった。日本経済は失業に悩み、非正規労働者は低賃金に苦しみ、日本で生産しても利益が上がらないので対外投資だけが伸びた。このような「低圧経済」の状況で、新機軸や生産性改善は起こりにくかった。

黒田東彦・日銀総裁（当時）による異次元金融緩和はこの状態を打ち破って、13年の初めから新型コロナウイルス禍の始まる19年第4四半期までに日本経済に500万人の就業者の増加をもたらした。

為替レートは通貨間の相対価格であるから、それを決定する最も重要な要因は世界で保有されている円建て資産とドル建て資産との相対比率である。従って日米の通貨政策が最も重要な為替レートの決定要因であり、財務当局の介入は長期的な影響力を持たない。

日本は弾力的な金融政策を

トランプの再選が市場に「より強いアメリカ」の期待を生むとすれば、為替相場をいっそう円安方向に押し



舵取りは？

円安の効果が薄れた日本経済を石破首相がどうコントロールするのか、その手腕が問われている

やるかもしれない。これに備えて、日本は短期金利引き上げを含めて金融政策をより弾力的に運営する必要にますます迫られるだろう。日米金利に差があるときには、金利の低い日本で借りて金利の高いアメリカに逃避する（キャリートレード）と利益が生ずるので、円安を止めるのは

難しい。

日銀が昨年7月31日の金融政策決定会合で、0.0・1%とほぼゼロだった政策金利を0.25%に引き上げた時、ゼロ金利水準での緩やかなイールドカーブ・コントロール（YCC、長短金利操作）に慣れ切っていた金融・株式市場にショックが走

った。直後の株式市場は、下げ幅としては史上最高の下落を記録した。しかし、時にはある程度のショック療法も必要なのである。

政策金利を動かすと、住宅金融の変動金利が上昇し、低迷している消費に悪影響があるという意見もある。しかし、そもそも変動金利は、固定金利がその時の市場金利より高いときに、住宅ローンの保有者に固定金利より低い金利という利益を与えていた。しかも、変動金利には返済額に上限を設ける125%ルールがあり、住宅ローン保有者の返済が急激に上昇するのを防いでいる。

金融政策が主な原因の極端な円安が日本経済に構造的ゆがみをもたらしている現在、政策金利の弾力的な行使ができないのは望ましいことではない。円安がもたらす将来のインフレを防ぐためには、金利が安定的な時に利益を受けていた変動金利利用者に、一時不利益が及ぶのもまたゲームのルールなのである。

現在のような「行きすぎた高圧経済」下では、円安の効果は薄れている。ゼロ金利制約のためイールドカーブ・コントロールに頼る状況が、むしろ非日常だった。YCCが残るのは日本の金融政策だけである。石破政権と植田和男総裁の日銀には、伝統的な枠組みの中で金融政策を行う余地が残されている。

World Affairs

CANADA

FRANCE

REFUGEE



欧州

アサド失脚で迫害の恐れが消えた今
ヨーロッパに逃れた難民たちも母国に帰れるはずだ——
強制送還を支持する声が高まってきた

Do Syrian Refugees Still Exist?

シリア難民に保護は不要？

シ

リアで反体制派
のイスラム武装
勢力がバシヤ
ル・アサド大統

領を国外逃亡に追い込み、首都ダマスカスを掌握したのは昨年12月8日。以来、欧州ではシリア人の難民認定申請の手続きを一時停止する国が相次いでいる。

EUは対シリア制裁の解除に乗り出す可能性を示唆。かつて国際テロ組織アルカイダの関連組織だった「シャーム解放機構（HTS）」が主導する暫定政権の出方を注視している。

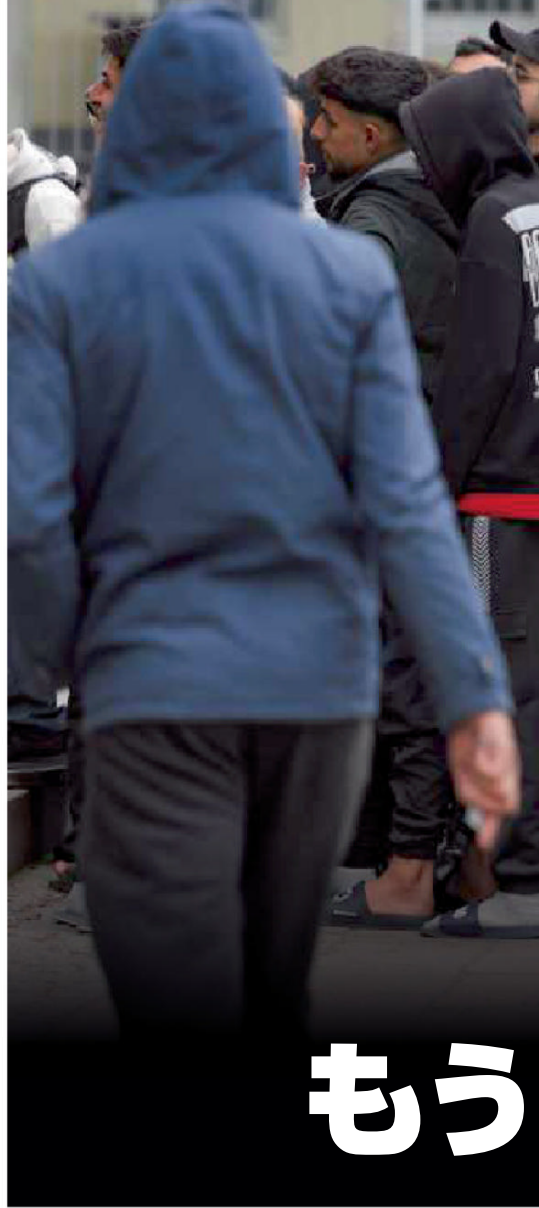
HTSは共存を呼びかけているが、シリアの少数派（クルド人やイスラム教シーア派の分派であるアラウィ派、キリスト教徒など）は、イスラム勢力から宗教上の敵やアサド派と見なされる懸念を抱いたままだとの報告もある。ワシントン・ポスト紙によれば、少数派を狙った報復殺人も数件起きている。

だが欧州での議論は、大半のシリア難民を一齐に出国させるよう奨励または強制すべきか否かという段階に移っている。専門家や人権団体は、

From Foreign Policy Magazine

SEAN GALLUP / GETTY IMAGES

保護を求めて
移民・難民の初期受け入れ施設で昼食の列に並ぶ人々。大半がシリア出身者だ(2023年10月、ドイツ東部のアイゼンヒュッテンシュタット)



もう

に通わせているシリア人はこのままとどまるだろうと言う。「高齢の人たちは祖国に帰って余生を過ごしたいと思うかもしれないが」

高齢化が進む欧州の労働市場の穴を埋めるためにシリア難民が重宝されている今、社会に溶け込んだシリア人を「引き剥がすのは愚かだ」と、コップは言う。ドイツでは介護業界だけでも、20万人近くを確保する必要がある。

さらに人権活動家らは、保護されるべき資格を持つ人々を国外退去処分すれば、さまざまな問題が生じると主張する。その人々には、国や地域の法律や国際法に由来する保護が重なり合うように提供されているからだ。

彼らを強制送還すればいかなる形でも、1951年の難民条約の「ノン・ルフールマン原則」(難民を迫害の危険に直面する国へ送還してはならないという原則)に違反する。難民の資格は満たさないが、母国に戻れば迫害を受ける恐れのある「補完的保護」の対象者も、EUの人権憲章で保護されている。

「ドイツにいるシリア人の大

去を命じる可能性がある」と表明した。

難民認定を申請中のシリア人と、既に欧州に滞在している120万人を超えるシリア人の将来に危機感を抱いている。オーストリアのゲルハルト・カルナー内相は内務省に対し、「秩序ある帰還と強制送還」のためのプログラムを準備するよう要請した。

この議論が最も活発なのは100万人近いシリア人を受け入れており、2月23日に総選挙を控えているドイツだ。

ドイツのアンナレーナ・ベアボック外相は1月3日、ダマスカスでシリアの実質的な指導者アフマド・アッシャラア(別名モハメド・ジャウラニ)と会談。その直後にナンシー・フェーザー内相が、ドイツ在住の一部のシリア人の保護資格を取り消し、国外退

「この措置は居住権を持たず、自主的にシリアに帰国しない人々にも適用される」

キリスト教民主同盟(CDU)のイエンス・シュパーン議員は、自主的に帰国するシリア難民に政府が1000万を支給する計画を提案。さらにキリスト教社会同盟(CSU)のアレクサンダー・ドブリント議員は帰国を保証する代わりに、シリア再建へ財政支援を行うべきだと表明した。

相次ぐ政治家の発言に、ドイツ在住シリア人の間には動揺が広がっている。シリア難民は、市民の役割を果たすことでドイツ社会にかなり溶け込んでいるとみられる。約22万6600人が就職して社会保険料を納め、約27万9600人が求職者として登録されているなど、他の難民グループより社会に貢献する資質があると考えられている。

強制送還は条約違反

昨年12月、ドイツ中部のワイマルにあるシリア料理店に、3人のシリア難民がいた。ユスフとモハメド、そしてイツサは口々に、祖国には戻りたいが、一時的に訪問して状況を確認したいだけで再定住するつもりはないと話した。

学生のイツサはシリア東部デリゾールの出身。故郷は今、アメリカが支援するクルド人主体のシリア民主軍(SDF)が実効支配している。彼はトルコが支援するシリア反体制派との緊張状態を懸念し、「まだ安全ではない」とドイツ語で語った。ドイツ北部のメクレンブルクで理容師をしているモハメドは、今後もドイツで暮らしたいと話した。

人権活動家のみるところ、ドイツ在住のシリア人は生活を立て直すために多大な投資を行っている。いきなり全てを放り出すのは難しい。ドイツの難民支援団体プロ・アジールで活動する社会学者のカル・コップは、欧州にいるシリア人の大半、特に仕事と収入があつて子供を学校

半は保護資格を持っている」と、コップは言う。「だが強硬派は、ドイツ社会に溶け込んでいないシリア人はそのままでもいいが、犯罪者や社会福祉に依存している人々は帰国させるべきだと考えている」



まっている。アサド政権は獄中での拷問などの人権侵害を行っていたと非難されており、多くのシリア人が亡命を求めた理由はここにあった。

「国外に逃れる理由がもはや存在しない以上、帰国は可能はずだ」と、CSU議員のドブリントは言う。

一時帰国のチャンス

ドイツ連邦移民・難民局は「迫害状況が恒久的に変わっただけ適用されなくなり、対象者が帰国しても危険に直面しなくなった」「対象者が犯罪を犯した」などの場合、同局には対象者の難民認定を取り消す法的義務があるとする。

51年の難民条約は、対象者が「任意に国籍国の保護を再び受けている場合」や「任意に国籍を回復した場合」、あるいは「迫害を受ける恐れがある」という恐怖を有するため、定住していた国を離れていたが、再びそこに任意に定住するに至った場合」などにおいて適用を終了すると規定。対象者が「難民と認められる根拠がなくなった場合」にも適用を終了すると明記する。

一部の人権活動家は、保護

資格の取り消し条項は安全な状況が長期にわたって続くような変化があった場合、つまり単にアサド体制から解放されただけでなく、そのほかの人権侵害の恐れがないことも保証される場合に適用されるものだと言張する。

プロ・アジールのウィーベケ・ユディト法務担当広報は、1つの保護資格が取り消されるとしても、ドイツ連邦移民・難民局や裁判所は別の保護資格が適用されるかどうかを考慮すべきだと指摘した。

「例えば欧州人権条約第4議定書第3条は国民の追放禁止を定めている」とユディトは言う。「この条項は拷問や非人道的、または屈辱的な扱いを受けるリスクがある場合のいかなる国外退去処分も禁止している。シリアの差し迫った人道状況を考えれば、このリスクには貧困も含まれる」

ドイツの法律は移民に対し、国外退去処分に異議を唱える法的手段を提供している。だがユディトはドイツで永住権を持たないシリア人には、実用的な観点から別の選択肢を考えるよう勧めている。「例えばきちんと就職したり、専



見えない明日 (上) 首都ダマスカスでアサド政権崩壊を喜びシリア市民／(下)ダマスカスを掌握して軍事パレードを行う暫定政権のメンバー(いずれも昨年12月)

門職や高資格者ならEUブルーカードを取得すれば定住資格を得られる可能性がある」

人権活動家は、欧州諸国はシリア人を強制送還するのではなく、希望する人には帰国を支援し、そのほかの人々は人的資源として国内に滞在させるべきだと主張する。

フランスの難民支援団体ラ・シマードのジェラルド・サディクは、欧州諸国はシリア人に対し、保護資格を維持したまま、いったん帰国して

現地の状況を確認できるようにすべきだと語る。

「問題は、帰国できる状況にあるかどうかを確認するためにはシリアにいったん渡っただけでも保護資格を失う可能性があることだ」と、サディクは言う。「帰国が可能ならば帰国させるべきであり、自分の家が残っていることを確認したいならそのチャンスを与えるべきだ」

アンチャル・ポーラ
フォーリンポリシー誌ラムニスト

From Extreme to Mainstream

「極右の父」が遺した 極右が主流になる現実

フランス 国民戦線創設者ルペンが死去

その主張は今やマクロンにも取り込まれて……



頂点を狙え ルペン(左)と娘マリヌは極右政党を主要プレーヤーに押し上げた

さに悩んでいた国民戦線が全国的にブレイクしたのは、81年に就任したフランソワ・ミッテラン大統領のおかげだ。社会党党首のミッテランは、財政危機を受けて緊縮路線に転換。支持率が低下するなか、中道寄りの右派を抑え込む意図もあって、国民戦線を後押しした。

本物の衝撃が訪れたのは、2002年大統領選でルペンが決選投票に残ったときだ。とはいえこれも、国民戦線の「不可抗的台頭」ではなく、フランスの政治と民主主義の現実が招いた結果だった。

フランスの暗い選択肢

ニコラ・サルコジが当選した07年大統領選も同様だ。ルペンの失墜と主流派の勝利の象徴とされるが、実際にはサルコジが自身をルペンに代わる候補に据え、極右支持者の票を大きく吸い上げていた。

この状況は、11年の娘マリヌ・ルペンへの指導者交代を挟んで悪化を続けた。18年に党名を国民連合に変更した彼女は、15年にはユダヤ人差別の発言を看過できないとして党から父親を除名。その頃

既にサルコジは国民戦線の主張の多くを主流化していた。だが、極右打倒のために極右的主張を取り込む手法に誰より熱心なのは、エマニュエル・マクロン現大統領だろう。マクロンが任命したジェラルド・ダルマナン内相(当時)が21年、「イスラムに弱腰すぎる」とマリヌ・ルペンを非難したのがいい例だ。

マリヌは政治生命に打撃を受けかねない汚職裁判の渦中にあるものの、今や事実上のキングメーカーと見受けられる。国民議会では、いずれの政党も過半数議席を獲得しておらず、国民連合がマクロン政権の生き残りのキャスティングボートを握っている。

極右の台頭はあらがえない流れだと、主流派エリートたちは受け入れたようだ。ならば、残る選択は1つ。極右政治を任せるのは極右勢力か、主流派の政治家か――。

極右の脅威と抜本的変革の必要性を深刻に受け止めない限り、フランスは「悪いもの」と「より悪いもの」のどちらかを選ぶしかない。

オーレリアン・モントン

(英バース大学政治学上級講師)

The Conversation

AFP-時事

フランスの極右政治の主流化がほぼ完了したようにみえるタイミングで、かつて国民戦線と呼ばれた極右政党の創設者、ジャンマリ・ルペンが1月7日に96歳で死亡した。現役時代はフランス政治の悪魔とされてきたが、その党は今や、後継者である娘の下で権力の座を目前にしている。1956年に国民議会(下院)議員に初当選したルペン

は、たちまち極右の「顔」になった。72年に国民戦線の初代党首に就任。各種の弱小極右団体を統合すべく、国民戦線結成に動いた人々の中で党首に選ばれたのは、急進度が最も低いと評されたためだ。もっとも、仲間内でより穏健だったというだけだ。自身の出版社からナチス歌曲のレコードを発表し、69年には戦争犯罪擁護で有罪判決を受け

た。第2次大戦中のフランスの親独ビシー政権を懐かしむ発言も繰り返した。その政治の核にあったのは人種差別だ。ただし、主流派による受容を目指す過程で、この核は反移民的懸念や愛国的プライド、さらには女性の権利やフランス世俗主義体制をイスラム教から守るという建前の裏に隠されていた。80年代半ばまで知名度の低



リベラルの象徴
2015年の首相就任時
にはトルドーに世界が
期待を寄せた

The End of the Modern Progressive Experiment

トルドー辞任と進歩派の袋小路

カナダ 右派ポピュリズムが世界を席卷するなか
リベラルの象徴だったカナダ首相の退場が意味するもの

1月6日、カナダのジャスティン・トルドー首相が、10年近く暮らしてきた首都オタワの首相公邸の玄関前で記者会見に臨んだ。

ジョージアン・リバイバル様式のこの邸宅前は、新型コロナウイルスのパンデミック初期にトルドーが定期的に会見を開いていた場所。この日の姿は、コロナの状況や政府の取り組みについて語る首相をカナダ国民が支持していた当時を思い起こさせるものだった。

時は流れ、かつて現代の進歩主義運動の象徴だった53歳のトルドーは、同じ場所で辞意を表明した。国民や自らが率いる与党・自由党の幹部の支持を失い、10月までに行われる総選挙での惨敗が確実視されるなかでの発表だった。

「この国には次の選挙で本物の選択肢が必要だ」と、沈痛な面持ちでトルドーは語った。「私はその選択肢として最善の存在ではない」

トルドーには国際政治の変革者として喝采を浴びた時代があった。環境保護主義者、フェミニスト、難民や先住民の権利擁護者を自任し、映画スターさながらのルックスと

元首相の息子という血統を兼ね備えた彼は、2015年の総選挙を制して首相に就任し、西側のリベラル派の象徴となった。

だが国民との蜜月は2年ほどしか続かなかった。スキヤンダルが相次ぐなか、17年にはイメージに傷が付き始め、小さな火種はコロナ禍の間に大きな炎へと燃え上がった。

19年と21年の総選挙で自由党が過半数割れすると、トルドーは中道左派の新民主党（NDP）などの協力を仰いで法案を可決する少数与党政権を運営せざるを得なかった。だが昨秋に同党との協力協定が崩壊し、NDPのジャグミート・シン党首は12月に内閣不信任案を提出する意向を表明。他の野党も同調した。

トランプ時代の対抗軸に

トルドーが世界の舞台に躍り出た15年10月、彼の進歩主義的な資質は、終盤に差し加っていた米オバマ政権を引き継ぐ存在に見えた。当時は、米大統領選に名乗りを上げたドナルド・トランプが、まだメディアからネタ扱いされていた時代。社会自由主義が

堂々と語られ、「ツイッター」と呼ばれていたSNSで男性政治家が「自分はフェミニストだ」と公言しても嘲笑されない時代だった。

その一方で、トランプのような右派政治家の躍進や西側での文化的ダイナミクスの変化が、リベラル的理想の優位を揺るがし始めた時期でもあった。トルドーはトランプ時代の対抗軸となるべく、ワシントンでの論争にたびたび意見を発信した。

その象徴的な出来事が17年にあった。トランプがイスラム教徒の多い国からの入国を制限する大統領令に署名した直後、カナダは難民歓迎を打ち出した。「迫害、テロ、戦争から逃れている人々へ、カナダは信仰に関係なく皆さんを歓迎します」と、トルドーはツイートした。「多様性はカナダの強みです」

当時、こうした政治的な動きは「包摂性の象徴」というカナダのイメージを誇る国民の意識を反映し、トルドー支持層の共感を得た。しかし、移民問題はその後、カナダを二分している。トルドー政権を含むリベラルな政府は、進

歩的な理想と、移民の経済的・社会的影響に対する国民の疑念の高まりとの折り合いをつけるのに苦労している。

「こうした政治ドラマに続く彼の長い沈黙は、現在の彼の立場がいかに脆弱であるかを雄弁に物語っている」と、マギル大学（モントリオール）のダニエル・ペラン教授（政治学）は指摘する。

24年4月にはカナダの人口は4100万人を超え、前年の増加分の98%を移民が占めた。人口の急増は、既存の課題を増幅させた。カナダは隣国のアメリカ同様、住宅危機、生活費の高騰、国債の増加に直面しており、反トルドー派は、これらの問題は移民に寛容な政策が原因の一部だと非難している。

政府は移民計画の見直しを余儀なくされ、25年の永住者の受け入れ数を計画値の50万人から39万5000人に削減すると昨年10月に発表した。

進歩派への二重の圧力

22年前半には、国民感情の変化が頂点に達した。コロナ対策の厳しい規制に対する不満が高まり、抗議デモや道路

封鎖が起きた。この運動は瞬く間にカナダ全土に拡大し、トルドーは1988年の制定以来初めて緊急事態法を発動した。

2年後、連邦裁判所は緊急事態法の発動について、トルドーが権限を逸脱したとの判決を下した。この時点で彼の支持率は低迷しており、回復

することはなかった。

カナダでトルドーが勢いを失った背景には、世界の進歩派の指導者たちが直面している危機がある。世界各地で右派ポピュリズムが台頭し、進歩派は文化的・経済的変化への対応を迫られている。

この後退が顕著に表れたのが、昨年の大統領選でトラン



入れ替わり トランプとトルドーは移民政策などをめぐり対立してきた(18年6月、ケベック州)

プが勝利したアメリカだ。トランプは文化的な懸念や経済的な不満を利用し、それらはリベラルな政府の失敗だと断じた。この戦略は、世界中の右派指導者が同調している。

フランスでは、エマニュエル・マクロン大統領が反移民の姿勢を見せるようになり、イタリアのジョルジャ・メロニ首相は民族主義的な政策を推進している。ドイツの極右政党「ドイツのための選択（AfD）」は今や野党の中心勢力になろうとしている。

こうした動きは、進歩派の指導者が直面する二重の圧力を浮き彫りにしている。移民や経済格差に対する有権者の不満に対処すると同時に、台頭するナシヨナリズムとポピュリズムに対抗しなければならぬのだ。この難題を乗り越えた指導者は今のところ存在しない。複雑でグローバルな課題を国家のアイデンティティをめぐる闘いとして位置付けるポピュリストの主張が明快な一方で、進歩派は将来に向けた説得力のあるビジョンを提示できずにいる。

ヘスス・メサ・カロー・ベルサノ

(本誌英語版エディター)

Keiichi Kaya

経済評論家。日経BP社記者、野村證券グループ投資会社を経て中央省庁のコンサルティング業務に従事。著書に『お金持ちの教科書』『スタグフレーション』など。



経済評論家 加谷圭一

経済ニュース超解説

#248

A NEW ROLE FOR A NEW LEADER

経団連会長人事と日本経済の今

経団連は、今年5月末で任期を終える十倉雅和会長の後任として、日本生命保険の筒井義信会長（写真）の起用を決定した。金融機関からの選出は初めてで、経済団体にもいよいよ時代の波が押し寄せてきたことをうかがわせる。



さに戦後日本の経済成長が製造業によってもたらされてきたことに由来している。

経団連の歴代会長とえば、東芝社長だった石坂泰三氏や同社会長だった土光敏夫氏、新日鉄会長だった稲山嘉寛氏らの名前が浮かぶ。経団連会

長は「財界総理」とも呼ばれたが、稲山氏の時代までは、与党の政策にも極めて大きな影響力を行使しており、まさに「総理」の名をほしいままにしていたといつてよいだろう。

特に土光氏は、鈴木善幸内閣や中曽根康弘内閣で実施された行政改革に辣腕を振るい、質素な暮らしぶりから「メザシの土光さん」と呼ばれ、国民からの

日本を代表する経済団体である経団連の会長には、非財閥の伝統的な製造業出身者が就くという慣例があった。非財閥というのは、戦後の連合国軍総司令部（GHQ）による財閥解体が影響しており、製造業出身者というのは、ま

認知度も高かった。一連の人事はあくまで慣例で、絶対的なルールではなかったが、近年までのこの慣例はかたくなに守られてきたといつてよい。状況が変化したのは、2006年に会長に就任したキヤノンの御手洗富士夫氏あたり

からである。同社は製造業ではあるが精密機器メーカーであり重厚長大産業ではない。また御手洗氏は創業家出身であり、典型的な財界人とはタイプが異なっている。御手洗氏の後任として選ばれたのは住友化学会長の米倉弘昌氏だが、ここで非財閥企業出身という慣例が明確に破られることになった。その後、しばらくは製造業出身者が続くのだが、今回、初めて金融機関出身者が会長に選ばれた。

変わる日本の中核産業

今回の人事は現会長の十倉氏（住友化学会長）による指名であり、同氏は「人物本位で選んだ」としているものの、日本の産業構造の変化が背景にあるのは間違いない。

製造業に従事している労働者は約1000万人と全体の6分の1まで低下している。企業全体が稼ぎ出す利益も非製造業が製造業を大きく上回っており、日本の中核的な産業はサービス業と言つてよい状況だ。それでも製造業の賃金は相

対的に高く、円安の進展で輸出産業の業績が拡大し、賃金が伸びることで消費が増える期待もあった。だが、このところ激しさを増している円安は製造業の業績回復にはつながっておらず、むしろ金利上昇をもたらし、金融機関の業績拡大が予想される事態となっている。こうした時代に保険会社出身者が経団連トップに就任するのは、やはり時代の要請と考えるとよいだろう。

もっとも近年の経団連はその政治力を著しく落としている。度重なる法人減税にもかかわらず、大手企業は内部留保ばかり積み上げており、大規模な設備投資や賃上げには消極的で、国民からの反発も高まっている。

新しいトップに求められるのは、インフレが進む新しい時代において、いかに企業の業績を向上させ、賃上げを実現していくのか道筋を示すことである。経済のグランドデザインを描けず、既得権益を死守するだけでは、経済界の地盤沈下は続くばかりとなるだろう。

■

Q: 兄夫婦のことで相談です。義姉のグレースはもと小説家志望で、彼女が作家として大成するまで兄が支えるという約束で2人は結婚したようです。

時は過ぎ、2人の間には4人の子供が生まれました。兄は「グレースの本が売れるようになるまで」と、以前よりも稼ぎのいい仕事に転職しました。でも一向に本は出ず、さりとてグレースが家のことに割く時間が長くなったわけでもありません。兄は家族を経済的に支え、子供たちの保育園代を払い、家事の半分を担っています。兄によれば、グレースに働くか別の道を探してくれと言うのは「夢を諦めさせることになる」し、執筆時間が減ってしまうから家事負担を増やしてもらうのも無理だそうです。そうは言いつつも兄は疲れ果て、何かに怒ってすらいます。

兄のつらい気持ちを聞いて私も泣きたい気分です。愚痴を聞いてあげる以外、私に何かできることはないでしょうか。
——つらさを分かち合う妹

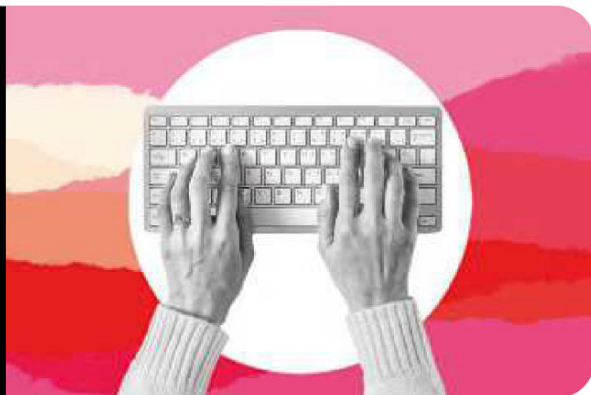
A: たとえ本を出せたところで、執筆だけで生活できる作家なんてほとんどいません。スティーブン・キングやJ・K・ローリングみたいな作家は例外中の例外。私自身、何冊も本は出していますが、そこからの収入は家族どころか自分1人の生活費にもなりません。周りの作家たちを見ても、別の仕事を持っている人ばかりです。

そもそも本を出版できたかどうかは、作家としての成功のバロメーターではありません。グレースはそれを夫にうまく伝えられずにいるのかもしれませんが、夫もそれを理解したところでつらい気持ちは抑えられないのかもしれません。印税収入での暮らしを夢見ていたのなら前提が間違っていたのだし、妻との約束を見直したいのに話し合いを先延ばしにしているのなら、それはお兄さんの責任です。もしかするとお兄さんは自分にも妻にも腹を立てていて、妹への愚痴でガス抜きをしているのかも。——ミシェル・ハーマン(小説家、スレート誌人生相談員)

人生相談からアメリカが見える

#248

SHE'S USING HIM 作家志望の妻を支える兄が心配



Q: 1つの建物に2世帯が入居する、いわゆるテラスハウスに住んでいます。庭はお隣と共有で、私はそこに小さなテーブルと椅子を置いています。家に風を通し鳥の声を楽しむために裏口の引き戸は開けて、網戸だけにして暮らしていました。

新しい隣人のキキはこれを「いつでも遊びに来て」というサインと受け取ったようです。しょっちゅう押しかけてきては椅子にどんと座って何か飲むものはないかと言い、夫が家事や育児を手伝わないと愚痴をこぼし始めるのです。それが嫌で最近は庭に出ず、引き戸も閉めています。

キキには小さな子供がいて、第2子を妊娠中です。いきなりうちに来て、用事があるからと私に子供を押し付けていたり、食事の支度をしている最中に突然現れて、自分たちの分も作ってくれと求められたこともあります。

出産前のパーティーにも「ぜひ来て」と呼ばれましたが、その理由は「気軽に手伝ってもらえる友達だから」だそうです。

妊娠中で大変なのは分かるけれど、巻き込むべきは自分の夫であって私ではないはず。私はどうすべきなのでしょうか。

——庭にフェンスを付けたい隣人

A: かつては私も、ご近所同士が助け合う大切さを説いていたこともありましたが。でも限度というものがあるはずで、キキは図々しいにもほどがあります。

礼儀を保ちつつ一定の距離を置いた近所付き合いをするようにしましょう。引き戸は開けていても網戸は開かないようにロックして、もしキキがやって来たらきっかり45秒だけ話をし、あとはトイレに行くと言って話を切り上げましょう。あなたが庭のテーブルにいるときにやって来たら天気の話だけして、家の中に入る言い訳を探しましょう。そのうちにキキも察するはずですよ。

パーティーも参加する必要はありません。料理を差し入れるくらいは構いませんが、容器は使い捨てにしましょう。

——ダン・コイス(作家、スレート誌人生相談員)

A black and white portrait of Tomomi Hoshino, a middle-aged man with dark hair, wearing a suit and tie. He is looking slightly to the left with a serious expression. The background is a light, textured surface.

CHALLENGER

星野知己

HOSHINO TOMOMI

株式会社 KAITO 代表取締役

1967年千葉県生まれ。1986年に家業の東海潜水工業株式会社に入社し、潜水士として現場に従事。2010年に代表取締役役に就任し、2012年に株式会社KAITOへ社名変更。大正時代から受け継がれてきた潜水事業を守りながら、新たな技術「ICTの3次元測量」の導入で、建設業界の変革を目指す。

大正時代から受け継がれる潜水技術を活かし、 自然と調和した建設事業を後世に伝える。

豊かな自然、美しい景観、安全安心な生活環境を守るため、海で活躍する「潜水士」。家業として潜水工事を行う家庭に生まれた株式会社KAITO代表取締役の星野知己氏は、従来の技術と先進技術を融合した取り組みにより、事業の可能性を広げ続けている。

海

や川、山を主な仕事場とする事業者は、気候変動をもっとも身近に感じているといっても過言ではない。作業中に大きな被害を受けたり、自らの行動が環境の汚染・破壊につながってしまったりする危険性もある。護岸や防波堤を建設する際の水中土木工事、船底の確認や点検補修作業……。潜水器具を装着して水中に潜り、台風や高波、津波といった自然災害の危険とは常に隣り合わせだ。

「作業中、災害が起きれば最初の被害者になり得ますが、作業の管理ミスにより環境を破壊する側になる可能性もあります。自分たちも地球環境も守るため、『自然と調和した事業』を後世に伝えていきたいです」。

10mより深い水深で水中土木工事に従事する場合、水中で作業する時間は1日約5〜6時間。それ故に危険が伴う仕事でもある。空気がない場所で行う消波ブロックの撤去・据付や海中溶接や切断をはじめ、安全な

作業遂行には高い技術力や経験、判断力が求められる。だが、「先人たちから脈々と受け継がれてきた伝統はそれだけではない」と星野氏は語る。

「昔は今のようにはモノが充実しておらず、道具が壊れると現場の作業が止まってしまう。そうならないためには、壊さないよう大事に扱うこと。潜水用のホースを直に地面に置いたり跨いだりしたら、先輩から怒られたものでした。道具を常に綺麗に保つことは感謝の意を示すことであり、異常をいち早く見つけるためでもあります」。

た

とえば、作業船のエンジンルームに溜まった水を発見した場合、それが雨水なのか海水なのかを判断しなければならぬ。海水の場合は船底に異常が生じているかもしれない。そのまま放置して走行すると、エンジントラブルにより水没や油の流出などを招く危険性があるからだ。「小さな違和感に気付くには、普段から水滴が一滴もない清潔な状態しておかなくてはならない」と星野氏は言う。

「便利な世の中になりましたが、モノを大切にしている気持ちは現代にも通ずると思っています。毎日の小さな積み重ねや、自然と融合する心を、今の世代に伝えていきたいです」。

KAITOのオフィスは、

2016年度日本ログハウス・オブ・ザ・イヤーノンセクション部門優秀賞に輝いたログハウス。山へストープ用の薪を刈りに行ったり、草刈りなどの手入ををしたりすることで、社員教育に繋がっている。チェンソーを始めとした機械の使い方を実習できるほか、自然への感謝や豊かなコミュニケーションが育まれるという。こうして普段から自然に触れることで、「風が吹いてきた」「潮が速くなってきた」といった、現場作業に必要な危機察知能力や判断力が培われるのだという。

公

共工事である港湾工事、陸上の土木工事に加え、海や水辺の環境保全、さらには幼稚園・保育園における砂場の管理まで、近年KAITOの事業領域は拡大している。

「先人が築いてきたものへの感謝に加え、先端技術を融合させることで新しいビジネスモデルを構築したい」と語る星野氏。人材不足や高齢化の渦中で、ICTを新規導入し、作業の効率化と省人化、高度化を目指す。ドローンや3Dスキャナー、水中でのマルチビームを用いた「3次元測量」は、対象となる物体の形状を把握でき、従来の測量技術では困難であった面的な地形の測量も可能にする。作業着工前に発注者、施工者、現

場担当者間で意思疎通が図りやすくなるため、設計変更により生じる時間とコストを抑えられるのも利点だ。立体映像のように自由な視点からの確認が可能となり、まだ図面を読むことに慣れていない若い社員の理解度も上がっているという。

従来、測量は測量会社、施工は工事の受注業者が行うのが一般的だったが、3次元測量を導入したことで、測量から施工までをKAITOが一貫して請け負うことが可能になった。「これは業界にとって非常に画期的なこと。他社と比較して弊社が優位性をもっている部分ですね」と星野氏は自信を覗かせる。「工程の全体像が見えた状態で作業することで、効率が良いなったり、工夫したり、安全性

が高まったりと、社員の意気も上がっています。小さな会社ですが、そのぶん横断的な仕事ができるのが強み。生き残りをかけて付加価値の高い会社づくりにするために、強みを最大限に活かして、ハイブリッド人材の育成を目指しています」。

先人たちからの技術の伝承を行いつつ、建設ICT、環境、防災といった新たな課題に対応できる人材の育成に力を入れるKAITO。そのために何より大切だと考えるのが、分かち合いと感謝の心。小さなことでも話し合える環境をつくるため、日頃からコミュニケーションは欠かせない。複数の技能や技術を習得し、最大限に力を発揮できる人材と共に、地球の未来を創っていく。

CHA

The Extra Edge

世の中のトレンドをリードする
話題のモノ、ヒト、コトなどを紹介

Features

RUSSIA

GEOPOLITICS

HOUSE OF CARDS

サウジアラビアの 外交Xデーはあるか

中東 第2次トランプ政権の発足を受けて
ついにイスラエルとの国交正常化に踏み切る日

トム・オコナー(外交問題担当副編集長)

ド

ナルド・トランプ次期
米大統領のホワイトハ
ウス復帰が迫るなか、
サウジアラビアはその

地政学的な地位の向上と、過去4年
の中東情勢の大きな変化を反映した
合意を締結する機会を模索している。
昨年、米大統領選でのトランプの
勝利は、ジョー・バイデン大統領率
いる米政府とサウジ政府が包括的な
協力合意の締結に向けて交渉してい
る最中のこと。アメリカがサウジに
安全保障を提供するとともに、核開
発など幅広い分野での協力を密にし
ることなどを内容とするものだ。

さらにバイデン政権は、2020
年のアブラハム合意で一部アラブ諸
国とイスラエルが国交を正常化した
ように、サウジとイスラエルの国交
正常化も促した(実現しなかった)。
トランプがこれを実現すれば歴史的
な実績になることは間違いない。だ
がそのためには、まずパレスチナに
国家の地位を与えるようイスラエル
を説得する必要があるようだ。
「サウジが見返りもなくアブラハム
合意に参加することはないと、トラ
ンプ政権は理解する必要がある」と、

サウジ政治の専門家であるサルマ
ン・アル・アンサリは言う。「サウ
ジがイスラエルとの外交関係を正式
に結ぶためには、イスラエルがパレ
スチナ国家の樹立を認めることが絶
対条件になる」

1948年のイスラエル建国以来、
周辺のアラブ諸国を巻き込んで続い
てきたイスラエルとパレスチナの対
立について、アメリカは長年、パレ
スチナにも国家の地位を与える共存
策を中東和平の中核に据えてきた。
だが今、この「2国家解決」策は瀕
死の状態にある。

楽観論と悲観論のはざま

パレスチナ自治区ガザを実効支配
するイスラム組織ハマスが、23年10
月7日にイスラエルに奇襲を仕掛け
たことに起因する戦争は、従来のア
メリカの中東政策を根底から揺さぶ
っている。

イスラエルのベンヤミン・ネタニ
ヤフ首相は、ガザで執拗なまでにハ
マス掃討作戦を続けている。しかし
連立政権の一角を担う極右勢力は、
ガザと並ぶパレスチナ自治区である
ヨルダン川西岸の併合も要求してい
る。つまりネタニヤフはパレスチナ
に国家の地位を与えるどころか、パ
レスチナ自治区をなきものにする圧
力にさらされている。

これについてサウジは02年、ヨル

頭の中

ムハンマド皇太子の
改革を支えるイデオ
ロギーはトランプの
「アメリカ・ファースト」
に近い



AFP-時事

ダン川西岸にパレスチナ国家が樹立されることを条件に、アラブ諸国がイスラエルとの関係を正常化する「アラブ和平イニシアチブ」を提唱。今もこれを中東和平の基本方針としている（イスラエルは同イニシアチブを拒絶している）。

第2次トランプ政権がこの問題にどう対処するかは、まだ分からない。ただしアンサリによると、サウジでは「楽観論と悲観論の両方が聞かれる」という。

「楽観論の根拠は、トランプが第1次政権でサウジと経済協力拡大など良好な関係を維持したことだ。一方で悲観論は、トランプが駐イスラエル大使にマイク・ハッカビー元アイカンソー州知事を指名するなど、極めてイスラエル寄りの人事を次々と発表していることによる」

トランプは第1次政権でサウジとその王室、とりわけ体調不良の国王に代わり、事実上政治を取り仕切るムハンマド・ビン・サルマン皇太子と緊密な関係を築いた。米議会の反対を押し切り、サウジへの武器売却も拡大した。

これに対してバイデンは、当初からサウジに対して冷淡だった。20年大統領選の遊説では反体制派サウジ人ジャーナリストの殺害事件を受けて、サウジを世界の「のけ者」にすると発言。大統領就任後はサウジへ

の武器売却を一時凍結した。サウジも、22年のロシアのウクライナ侵攻に伴い世界的なエネルギー価格上昇が起きたとき、バイデンが原油増産を直々に要請したにもかかわらず拒絶するなど、アメリカとの関係が目立って悪化した時期があった。

トランプ1期目とは違う状況

だが、サウジは民主党政権とも共和党政権ともうまく協力してきたとアンサリは言う。とりわけバイデン政権のマイケル・ラトニー駐サウジ大使は、「相互尊重の精神で、両国の協力関係を拡大するべく積極的かつ賢明に努力した」と評価する。

トランプにしても、サウジとの関係がいつも良好だったわけではない。特に20年1月にネタニヤフと共に、「世紀の合意」という触れ込みで中東和平案を発表したときは、サウジを激怒させた。この和平案はサウジだけでなく、ハマスやパレスチナ自治政府にも拒絶されている。

アメリカ大使館の所在地をテルアビブからエルサレムに移したときやイスラエルによるゴラン高原の併合を認めたときもそうだった。

20年のアブラハム合意にはアラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、モロッコ、スーダンが加わり、イスラエル・アラブ関係の大きな転機となったが、パレスチナ側は反発。サ

ウジは現在まで、02年のアラブ和平イニシアチブで示した提案を取り下げる意思を見せていない。

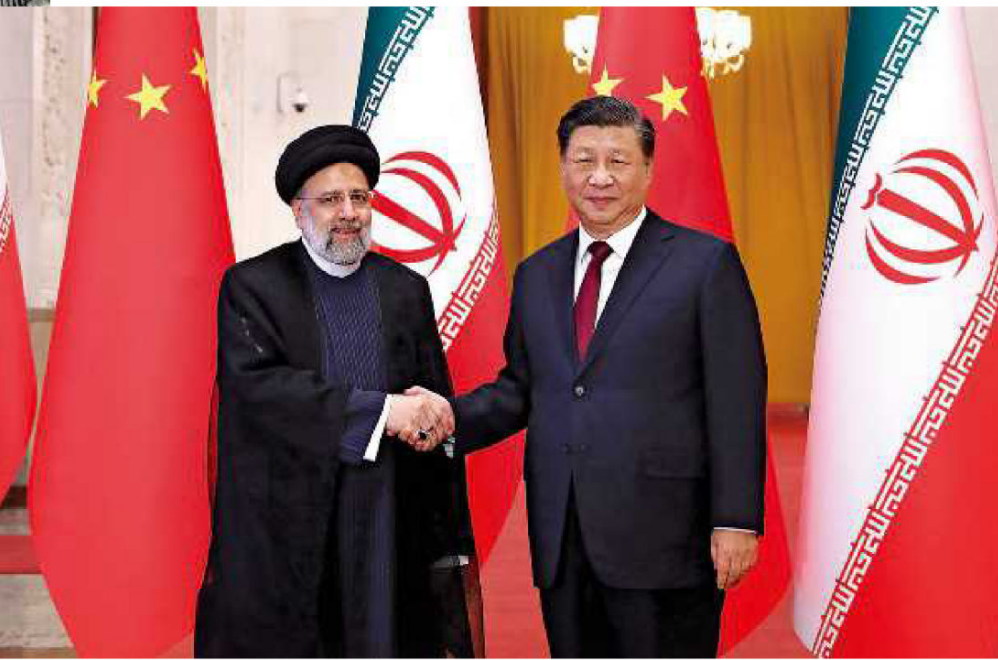
今日の地政学的現実を考えれば、それを受け継ぐ新たな中東和平案をまとめるのは容易ではない。サウジの外交問題専門家で英キングストン大学政治学協会のメンバーでもあるアザム・アル・シユダディは本誌にこう語る。「今の中東情勢はイスラエルが火を付けた緊張激化など、トランプの1期目から

激変している」

イスラエルとハマスの戦争は、親イスラムの武装組織のネットワーク「抵抗の枢軸」だけでなく、イスラ自身にまで飛び火した。かつてトランプはイスラに對抗するアラブの友好国との連携を模索したが、サウジは23年3月、中国の仲介でイスラとの国交回復に

バランス感覚

サウジは対外関係を多様化させている／(左)アメリカが仲介したアブラハム合意の署名式(20年9月)／(下)23年には中国がサウジとイスラの国交回復を仲介



合意。両国関係を安定させることを選んだ。この合意は中東の混乱にもかかわらず、現在も維持されている。アラビア半島の情勢もおおむね落ち着いているが、「抵抗の枢軸」の一角を占めるフーシ派が力を持つイエメンは例外だ。フーシ派はイスラエルを標的とするミサイルやドローン(無人機)を発射し続け、近海の商船にも攻撃を仕掛けている。中国が仲介した合意が維持されて

いる事実、中東での影響力回復を目指すアメリカにとって由々しき事態だ。「サウジとイスラの合意は和平調停者としての中国の試金石だ」と、シユダディは言う。「この合意は今のところうまくいっている」

シユダディは、今は亡きヘンリー・キッシンジャー元米国务長官の言葉を引き合いに出した。キッシンジャーは23年3月にワシントン・ポスト紙のインタビューで、イスラとサウジの合意を「中東の戦略的状况における質的变化」と呼び、サウジのバランス感覚を、冷戦時代に中国とソ連の緊張を利用しようとしたアメリカになぞらえた。

サウジは長年、アメリカと緊密に連携してきたが、今では独自の影響力を行使できる立場にある。イスラム教の2大聖地メッカとメディナの守護者としてのアラブ世界とイスラム世界での特別な影響力。アラブ連盟、湾岸協力会議(GCC)、イスラム協力機構(OIC)でも主導的地位にある。20カ国・地域(G20)で最も急成長している国の1つで、中国とロシアが主導するBRICSへの加盟も目前に迫っている。

「他国の利益を損なわずに関係を多様化することで、サウジは国際的課題を克服し得る、信頼できるパートナーになった」とシユダディは言う。「アメリカの新政権がこの変化に合



わせ、地域と世界の安定に資する形でサウジとの戦略的パートナーシップの利益を確保する政策を採用できるかどうか。それが真の課題だ」

一方、イランはBRICSに加盟済みで、やはり中国とロシアが主導する上海協力機構（SCO）の正式メンバーでもある。

それでもシリア派の革命政権であ

るイラン・イスラム共和国と愛国主義的なスンニ派のサウジアラビア王国との間には根深い確執があり、両者は今も中東での影響力を競い合っている。サウジ側にはイランの核開発計画加速に対する懸念もある（当のイランは大量破壊兵器の獲得を目指さないと断言している）。

イランのウラン濃縮や遠心分離機

製造などを規制する包括的共同作業計画（イラン核合意）は、第1次トランプ政権が18年5月に離脱を表明し、崩壊の危機にある。サウジも当初は合意に懐疑的だったが、最近の両国関係の変化を受けて、こうした合意の利点を認識するようになった。トランプがイラン核合意への姿勢を変える可能性があると、シユダゲイは言う。「中東ではサウジとイランの関係が落ち着きつつある。イランは経済的圧力とイスラエルの攻撃を受けて、かつてない柔軟性を見せ、新たな核合意に関する対話が可能になっている。サウジは今後の交渉で重要な役割を果たすだろう」

イデオロギー的な共通点も

サウジの地政学アナリストでコンサルタントグループ「サウジ・エリート」の代表を務めるモハメド・アルハメドは、「最近のサウジとイランの外交的雪解けは、わが国の外交政策が大きく転換したことを意味する」と本誌に語った。「イランとの開かれた対話ルートを維持することは、わが国が地域の緊張を管理し、自国の利益にならない紛争に巻き込まれることを避けるのに役立つ。ただし、警戒を怠ってはならない」

「イスラエルとイランとの強硬姿勢は中東情勢を不安定にし、サウジの安全保障を脅かしかねない。サウジ

は国益を優先して、緊張拡大を抑制し対立ではなく対話を促す均衡の取れたアプローチを提唱すべきだ」

トランプは大統領選で7つの激戦州を全て制してカマラ・ハリス副大統領に圧勝したが、経済・外交の多様化を進める産油国サウジはそれ以上に手ごわい相手かもしれない。

「サウジにはさまざまな選択肢があり、アメリカの優先課題に関係なく国益を追求するだろうと認識することが重要だ。核心的利益が一致しなければアメリカは他の国や社会に急進的な政策を押し付けられないことをサウジは承知している」

それでもイデオロギー的には共通点が多い。トランプの孤立主義的な外交戦略「アメリカ・ファースト」は、サウジの次期国王の改革・愛国主義路線と非常に多くの点で呼応する。「中東はトランプ政権をおおむね歓迎している。彼が国内の発展を重視する結果、国外の紛争への関与は減る。サウジにとっては外圧なしで国益を追求しつつ、アメリカとの関係を強化するチャンスだ。サウジは総じて安定と治安と相互尊重を優先する関係の構築を目指している」

トランプもムハンマドもしばしば中東和平の仲介役を自任するが、皇太子は脱石油依存などを目指す経済改革案「ビジョン2030」を推進する一方、パレスチナ国家樹立の立

役者として歴史に名を残したいという思惑もある。

「安全保障条約には必ずしもイスラエルとサウジの関係正常化が含まれるわけではない。合意実現の取り組みは慎重さを要する。サウジは常にパレスチナの権利を強固に支持してきた。この根本問題をおろそかにすれば猛反発を招きかねない。サウジはイスラム世界の盟主なのだから」

アルハメドもアンサリもシユダデイもこの立場は揺るがないとみている。サウジの退役軍人で駐米武官を務めたアブドゥーラ・ビン・ファラ・アル・シャヤも、アメリカとサウジは第2次大戦以降、たいてい妥協点を見いだしてきたと語った。

「両国関係のこうした歴史を思えば、トランプと彼の（政権の閣僚や政治顧問など）政治チームはこの（中東和平への）道のりが協力して共通の利益を実現することに満ちていると理解しなければならない」

さらにトランプ政権は「サウジとの誠意ある協力が重要であることを認識すべきだ。サウジはアラブ世界とイスラム世界、国際社会で主導的地位にある。中東での衝突・紛争、特にパレスチナとイスラエルの衝突において、政治や安全保障を含む全ての分野で戦略的パートナーとして接するには、それが要だ」という。「トランプと彼の政治チームは、こ



火消しを急げ イスラエルの空爆を受けたガザ北部で生存者を搜索する人々(昨年11月)

の問題におけるサウジの立場は公正かつ率直で議論の余地がないと理解しなければならない。（サウジは）この件について自国の歴史的かつ公正な立場の安定にこだわり、イスラエルがアラブ和平イニシアチブを受け入れ、血なまぐさい衝突を終わらせるべきだと国際会議の場で繰り返

し主張してきた。だがネタニヤフは「イニシアチブの受け入れを拒んでおり、サウジはトランプがこの問題で歴史に残るような立場を取ることを願っている」。

そのためにはトランプは「交流を活発化して無益な先送り外交をやめ、政治チームをサウジを含め全ての当

事者と本格的に協力させ、この悲痛な紛争の効果的かつ公正な解決・終結に直接寄与する」べきだと、シャヤは語った。

あくまで「歴史的かつ公正」に

アラハム合意以前、イスラエルと外交関係を樹立したアラブの国はエジプト（1979年）とヨルダン（94年）のみ。モリタニアも99年にイスラエルと国交を樹立したが、09年にイスラエルと、ハマスが実効支配するガザとの紛争が勃発したのを受けて条約を破棄した。

アメリカは今もイスラエル擁護の立場を崩していないが、今回の戦争は「2国家解決」に向けて国際社会の新たな動きを加速させている。

第2次トランプ政権は国際的影響力を増す非常に重要なパートナー（サウジ）との関係強化を望むだろうが、最も緊密な同盟国の1つ（イスラエル）を取り巻く状況は依然として不安定だ。サウジは「国益にかない国益を最大化する限り、平和的解決を急いでいる。ただし、パレスチナの大義を犠牲にするわけにはいかない」と、シャヤは指摘する。「トランプはアラブ和平イニシアチブの受け入れと支持をめぐる最終的立場を表明し、イスラエル指導部に受け入れるよう圧力をかけて、中東の戦火を消し去るべきだ」



英雄の帰還
スパイ交換で帰還した
工作員のドゥルツェフ
夫妻をモスクワの空港
で出迎えたプーチン
(24年8月1日)

GONZO INTELLIGENCE

スパイは国民のヒーローだ

ロシア 正体がばれて外国で逮捕・収監されても
帰国すればセレブとして持ち上げられ政界への華麗な転身も

ブレンダン・コール(本誌記者)

ロ

シア大統領領のウラジー
ミル・プーチンは冷戦
末期の東ドイツ(当
時)で、スパイとして

働いていた。あの頃、スパイは「目
立ってはいけない」存在だった。し
かしウクライナへの軍事侵攻を始め
てからのプーチンは、むしろ自国の
工作員をヒーローに仕立てることに
熱心なようだ。

昨年8月1日には首都モスクワの
空港で、NATO加盟国スロベニア
から送還されたアルチョム・ドウル
ツェフと妻のアンナを出迎え、大き
な花束を渡した。この夫妻はスロベ
ニアで服役中だったが、多国間スパ
イ交換の一環で釈放された(同時に
ロシアの殺し屋1人とアメリカの海
兵隊員とジャーナリスト各1人の交
換も行われた)。

任務を遂行し切れずに外国で捕ま
ったスパイが、なぜ送還された祖国
で歓待されるのか。たぶんプーチン
が彼らを英雄に仕立て、表舞台に立
たせることで国内外へのPR効果を
狙っているからだ。ロシア出身の歴
史家セルゲイ・ラドチェンコ(米ジ
ョンズホプキンス大学高等国際関係
大学院教授)に言わせれば、「プー
チン体制下でロシアのスパイは新た
な尊敬を勝ち得て、今やジェーム
ズ・ボンド並みの輝ける英雄となっ
ている」。

1970年代のアメリカには客観的事実の報道よりも自分の主観で事実を語り出すことに熱心な「ゴンゾー・ジャーナリスト」がいたが、今は（裏の工作だけでなく）自ら公衆の面前にしゃしゃり出て脚光を浴びたがるスパイがいる。

ロシア独立を求める「シベリア合衆国」を支持する発言をSNSで繰り返していたインフルエンサーだが、それは仮の姿で、実は数年前からロシアの連邦保安局（FSB）の指示で動いていたとされる。

あるいはマリア・ブティナの場合。



アンナ・チャップマン
アメリカで逮捕されたがロシアに戻ってからはセレブ扱い

いい例が、昨年12月にFBIが任意の事情聴取における虚偽供述の容疑で逮捕したニューヨーク在住でロシア国籍の女性ノマ・ザルビナだ。彼女は米国内で活動する反プーチン派の集会に「専門家」として頻繁に顔を出し、ロシア連邦の解体とシベ

リア独立を求める「シベリア合衆国」を支持する発言をSNSで繰り返していたインフルエンサーだが、それは仮の姿で、実は数年前からロシアの連邦保安局（FSB）の指示で動いていたとされる。

あるいはマリア・ブティナの場合。彼女は米共和党支持団体の大会などに出席して有力政治家と接触していたが、2018年に正規の登録なしで外国政府の代理人（つまりスパイ）として活動していた罪で有罪判決を受けた。しかしスパイ交換でロシアに戻り、今は晴れて国会議員となっている。2006年にロンドンでロシアの元工作員アレクサンドル・リトビネンコを殺害した容疑で英警察に追われている実業家のアンドレイ・ルゴボイも、今は国会議員だ。

前出のラドチェンコによれば、外国で捕まってスパイ交換で祖国に戻ったスパイが華々しく脚光を浴びることなど、ソ連時代には考えられなかった。しかし「今のロシア国民の

目には、元スパイという肩書が立派な資産と映るらしい」とラドチェンコは言う。「任務を果たせなかったスパイも、国に戻ればプロパガンダの片棒を担がされ、運がよければ豪勢な暮らしもできる。そこがソ連時代とは決定的に違う」

ラドチェンコは「外国で正体を暴かれた工作員がロシアに戻って公的な役職に就いた例など、過去には聞いたことがない」とした上で、こうも言った。「今はロシアでもイメーじやプロパガンダが重視される時代。プーチンも率先して国民向けの心理作戦に関与している」

下っ端のスパイさえ美化

セレブ系元スパイの代表格はアンナ・チャップマンだ。彼女は10年にアメリカで下っ端のスパイとして逮捕されたが、今はロシアでテレビ司会者やモデルとして活躍している。

「チャップマンは取るに足らないスパイだった」と言うのは、各国の諜報活動に詳しい英ノッティンガム大学のダン・ロマス助教。「大統領のプーチン自身が元スパイの経歴を隠そうともしない国では、彼女のような存在でも立派なスパイとして美化される。ロシア社会では、スパイは尊敬すべき、

見習うべき存在なんだ」

スパイを美化する伝統はこの国にもあるが、今のロシアは諜報機関の出身者で固めた治安国家。スパイが最高に輝くのも当然なのだろう。

イギリスの王立国際問題研究所によれば、かつてのスパイ事件は水面下で処理されるのが常だったが、今はロシアのスパイ活動を白日の下にさらすべきだという考えがあり、各国とも外国のスパイを逮捕しやすくする法整備を急いでいる。

だが、いくら捕まえてもスパイ交換で送還されれば本国では英雄扱いだ。パブロ・ゴンサレス（本名パベル・ルブツォフ）も、8月1日にモスクワの空港でプーチンの出迎えを受けた。彼はロシア軍参謀本部の工作員で、スペインのジャーナリストを装ってポーランドで活動していた。それでも帰国時には「スター・ウォーズ」のTシャツ姿で現れ、プーチンと固く握手を交わしていた。

「プーチン政権のために西側諸国で罪を犯したロシア人は英雄だ」という国内向けの強烈なメッセージだと指摘するのは、エストニアの国防・



安全保障国際センターのマレク・コフ。「ロシアは何十年も前から欧州大陸でスパイ活動を行っている。当時の欧州はロシアを商売の相手と見なしていたが、ロシアは一貫して欧州を敵と見なし、その力をそぎ、従属させることを目指している」

そして今は、外国で捕まったがスパイ交換でロシアに帰還した者たちを宣伝戦の道具として使っている。コフに言わせれば、「たとえ犯罪者でもロシアは彼らに高位の公的な地位を用意しているぞ、というのが外国向けのメッセージだ」。

それだけではない。旧東欧圏の諸国は先に、NATO条約第5条の集団防衛の原則をあざ笑うようなロシアの「ハイブリッド」作戦が一段と活発化しているとの警告を発した。

昨年7月にはDHLの航空貨物コンテナに爆弾が仕掛けられ、ドイツのライプチヒで火を噴く事件が起きた。背後にはロシアの工作員がいた疑いがあり、アメリカ力行きの貨物便を空中で爆破する予行演習だった可能性が高いとされる。

ポーランドやイギリス、チェコ、リトアニアなどで起きた放

火事件にもロシアの影がちらつく。

こういうものがロシア流の「ハイブリッド戦争」だ。アメリカ国際法学会が17年に発表した報告書によれば、この戦略を立案したのはロシア連邦軍の参謀総長を務めるワレリー・ゲラシモフだ。

情報戦は安上がりで効果絶大

ゲラシモフは13年の論文で、自らの戦略を西側諸国の東方拡大に対する「非対称的」な対抗と呼んだ。そして政治的・戦略的な目標を達成する非軍事的手段が増えているうえに、「その有効性はしばしば武力の行使を上回る」とした。

具体的手法は、情報操作や宣伝活動、破壊工作、西側諸国の政党への潜入や資金提供から、ロシア軍機による領空侵犯やGPS信号の妨害ま



マリヤ・ブティナ アメリで有罪となり、今は国会議員に

アンドレイ・ルゴボイ
ロシアの元工作員を殺害した容疑で英警察に追われている実業家のルゴボイ(右)も国会議員に

で多岐にわたる。実際、22年2月のウクライナ侵攻以来、こうした活動の頻度は増えている。コフによれば、西側諸国が一致団結してウクライナ支援に回る事態はロシアにとって想定外だった。それで彼らは「非軍事的」な手段にも頼らざるを得なくなった。

「しかもサイバー攻撃や情報操作、放火などは通常の軍事作戦と比較にならないほど安上がりだ」とコフは言う。「だから西側諸国の指導者が何か言えば、ロシアはすぐに反応してハイブリッド攻撃を繰り出せる」

ウクライナ戦争が始まって以来、欧州諸国からは外交官を装ったロシアの工作員600人以上が追放された。しかしEUの外交旅券さえあれば、今でもロシアのスパイはEU圏内には自由に行ける。そうして現地



の犯罪組織に金を渡せば、破壊工作やサイバー攻撃を「外注」できる。実際、ロイター通信の伝えるところでは、ロンドンでウクライナ関連施設に放火して逮捕されたイギリス人の男は、外国の諜報機関から報酬を得ていたと自供している。

「一般の犯罪者にスパイの下請けをさせるなんて危険すぎるし、どんなに恐ろしい結果を招くか分からない」と、エストニアのコフは言う。

警察と特殊部隊は国内外で安全保障の分野で協力していると、彼は強調する。「ロシアの活動が欧州各地で監視され、明らかにされることが重要だ」

A Less Disturbing Squid Game

新たな『イカゲーム』の大きいなる不在

ドラマ 大ヒット作のシーズン2に出てこないVIPこそ
リアリティー番組視聴者のわれわれに突き付けられた鏡だ

ドラマ『イカゲーム』の設定はシンプルで、心をかき乱す。舞台は現代の韓国。経済難などの事情で人生に行き詰まった人々が、最後まで勝ち残れば巨額の賞金を獲得できるゲームに招待される。

ゲームの内容は「だるまさんが転んだ」などの子供の遊びだが、脱走者を待つのは頭や心臓を射抜く銃弾だ。綱引きや飛び石ゲームで負ければ墜落して死亡し、仲間のプレイヤーと生き残りをかけてステークナイクで戦われる。

ネットフリックスが2021年に配信し、世界中で大ヒットしたシーズン1の途中では、さらにぞっとする真実は明らかになかった。

ゲームはいわば「番組内の番組」だった。参加者456人は優勝賞金456億^{ウォン}（約49億円）のために命懸けで戦うだけでなく、サディスティックなVIPたちの娯楽に使われていたのだ。孤島に集まったVIPは酒宴やセックスにふけり、ゲーム参加者を対象にまるで競馬のように賭けをしていた。

昨年12月26日に配信されたシーズン2では、現実と同じく、あれから3年ほどが過ぎ

ている。だが今回、大金持ちのVIPは出てこない。彼らの不在は、本当に残念だ。

シーズン2では借金や依存症の残酷さが再び描かれ、仮想通貨詐欺といった新種の経済犯罪を取り上げている。一方で、ゲームの最重要人物であるはずの人々、自分たちが観戦して楽しむために恐怖のゲームを要求する（おそらく資金も提供している）VIPについては触れていない。

「私たち」の象徴として

『イカゲーム』の展開は、はつきり言ってばかっている。それでもドラマで練り広げられるゲームは今の時代、非常に身近なあるものの力学を反映している。そう、リアリティー番組だ。

この現実世界のゲームでも、参加者は賞金を勝ち取るために、あるいはインフルエンサーとしてのキャリアなどに役立つ注目を手にするために競い合う。ときには「タレント」として提供したサービスの見返りに報酬を受け取り、番組内で豪華な結婚式を挙げたりすることもある。

引き換えに、リアリティー番組の出演者は極端な状況に

追い込まれる。命の危険はなくても、心理的に苛酷になリかねない状況だ。

複数の出演者が独身男性のハートを射止めようと争う米恋愛リアリティー番組『バチエラー』のシーズン23で、意中の女性が番組を去った後、主役の独身男性が門を飛び越えて脱走しようとしたのは有名なエピソードだ。アメリカのリッチな主婦たちが登場する『リアル・ハウスワイフ』シリーズの1つでは、出演者が友人である共演者を「ニューヨークの半分と寝ている」と攻撃する悪口がマイクに拾われた。

米登山コンテスト番組『サミット』では、ある参加者がロープでできた橋を、別の参加者が渡っている最中に切断するよう強いられる。橋を渡っていた男性は墜落制止用器具を装着していたとはいえず、ショックを隠せない表情で落下し、視聴者はその様子をスローモーションでたつぷりと見せられる。

『イカゲーム』で仮面を着けて死闘を観戦するVIPの姿を見ながら、視聴者はばかばかり笑うためにリアリティー番組をむさぼる自らの残

酷さと向き合うよう迫られる。リアリティー番組の出演者も、実際に生きている人間だ。彼らは視聴者の娯楽のためにもあそばされる。

確かに、現実の視聴者の「のぞき見趣味」はそこまで倒錯していないし、出演者は参加するゲームの内容をある程度まで承知している。だが基本的にリアリティー番組の視聴とは、不自然な在り方に追いやられて、侮辱や残忍な扱いに耐える人々の姿を眺める行為だ。

それでも、倫理的に微妙な部分も含めて、リアリティー番組は面白い。誰だって人間だ。人間ならではの欠点のオンパレードに夢中になるのが悪いことか。D級インフルエンサーやエルメスで身を固めた主婦たちの喜劇や悲劇を欲しがってはいけないのか。

リアリティー番組を見るのは、彼らの失墜を楽しむためのなか（屈辱を受けるだけで、死ぬわけではないのだし）。それとも、人間性の奇妙な側面を自分ごととして受け止め、同様の極端な状況で自分ならどうするかを考えるため、愛や成功を求める出演者を、純粹な気持ちで応援するためな



2度目の勝負 シーズン1で生き残ったソン・ギフン(中央)は残酷なゲームに再び参加し、死闘に身を投じる

のか——。
いずれもイエス、というのが本当の答えだろう。ならば、その不快な一面から目を背けてはならない。

私たちは『イカゲーム』のVIPを通じて、リアリティー番組という経済の需要サイドにおける自身の役割を直視することを迫られる。自分が、ぞつとしたり同情したり、不快に感じる番組内の出来事と「共犯関係」にあるという事実と向き合うことを要求される。そうした存在であるVIPがいないシーズン2は、複雑さや深みで劣っている。

だがうれしいことに、今年中に配信予定の最終章のシーズン3では、VIPが帰ってくるという。「彼らはもうすぐ到着する」。本作の監督・脚本を手掛けるファン・ドンヒョクは、米メディアUSAトゥデーでそう予告している。「自家用ヘリで、あの島の上空を飛行している最中だ」

VIPが悪夢の孤島に着陸したとき、スクリーンのこちら側にいる私たちは彼らと一つになって、残酷な人間ゲームを観戦することになる。

スコット・ノバー(ジャーナリスト)

Unlike Anything He's Done Before

「まるで経験したことのない作品だった」

Q&A ドラマ『ノー・グッド・ディード』で

コメディ俳優レイ・ロマーノが見せた新たな一面

ネットフリックスの『ノー・グッド・ディード』で「麗しの家」に主演するレイ・ロマーノがこのコメディードラマに引かれたのは、これまで出演したどの作品とも違った点だ。「3話分ほど脚本を読んだが、それぞれ最後にちよつとしたひねりや意外な展開があつて面白かつた」

登場するのは、ポールとリディアのモーガン夫妻（ロマーノとリサ・クドロ）、そして2人が所有する邸宅を購入しようとして競う3組の家族たち。「善人か悪人かは1つの出来事では分からない。ドラマ全体を通じて、彼らは困難な状況に置かれた善良な人々だと分かってくる」

コメディ俳優たちの、時にドラマチックな（とはいえず滑稽な）演技も見どころだ。「リサも私もシットコムで知られている。彼女のシットコムのほうがずっと有名だけど、でも僕たちのファンもいる。もし僕らの新たな（もつと重厚な）一面が見せられたなら、とてもいいドラマだと思う」

1996年に始まり大ヒットしたシットコム『Hey! レイモンド』で一躍有名になったロマーノだが、クドロ

のような著名人との共演ではいまだに気後れするという。「セレブやアイコンのイメージが強いから。でも一緒に過ごしてみると、彼らもただの人間だと分かる」。そんなロマーノに、本誌H・アラン・スコットが話を聞いた。

*

——どこに興味を引かれた？
物語そのものが面白く、巧みで、興味をそそる。（制作のリズ・フェルドマンの）書き方がまたうまいんだ。犯人捜しで、ミステリーで、コメディで、その全てが話を面白くしている。彼女が手がけた『デッド・トゥ・ミー』さような裏に『』も同じように良かった。こんな作品は経験がなかったし、彼女に任

せていれば大丈夫だと思った。
——コメディ俳優が演じると話に真実味が出ると思う？
コメディは暗い部分から生まれるとか、痛みや苦しみと裏腹だとかいわれるが、それはどんな俳優にも当てはまる。結局は対比なんだと思う。軽い内容を期待していたのに心を動かされたり、重いメッセージを突き付けられたりする。

ると、より印象に残るのだろう。コメディ俳優がそんな演技をすると驚かされる。
——これまでの役柄とはどんなところが違った？
撮影の最初の頃、「彼は本当に嫌な奴だね？」ってリズに言ったんだ。僕は話の展開や事情を知っているけど、視聴者は後半になるまでほとんど分からない。この男には欠点があつて、つらい状況にいて、決していい人ではないのが魅力だった。

N

安心感

制作のフェルドマンに「任せていれば大丈夫だと思つた」と話すロマーノ



ここ何年も、もっと読書に時間を費やしたいと思っていた。でも仕事やらソーシャルメディアやらに時間を取られ、本など開かずベッドへ直行する日々だった。

読んだと回答した人は12年には54・6%。22年には48・5%に減少している。これがアメリカ人全体の識字能力の悪化に拍車をかける。少なくとも1億3000万のアメリカ人は、小学6年生以下の読解力しかない。

読書、あるいは読書の欠如は社会全体だけでなく人々の生活にも大きな影響を及ぼす可能性がある。例えば、高齢者を対象にしたある研究によると、より多くの読書習慣がある人（過去3カ月間に1〜5冊読んでいるなど）はメデイケア（高齢者医療保険制度）についての知識も豊富で、賢く利用できる傾向がある。

他の研究では、読書は加齢に伴う認知機能の低下を防ぎ、高齢者の記憶力強化に役立つことが明らかになった。幼少時の読書は、10代になってからの認知能力向上とメンタルヘルスの安定と関わっている。

カリフォルニア大学ロサンゼルス校の神経科学者メアリー・アン・ウルフは、ゆっくりと時間をかける人間の処理能力にテクノロジーが影響を及ぼしている」と主張する。彼女によれば、ネット上で文章を読むのは読書というより斜め読みにすぎない。その結果、読書に集中し関心を向ける「認知的忍耐力」が低下するという。私は読書に喜びを見いだ



娯楽を超えて 外の世界から離れて集中できる読書は「認知的忍耐力」も強化する

My Reading Resolution

日々の筋トレのように 読書トレーニングしてみた

本 毎日30分の強制読書で劇的な効果が
脳の老化を防ぎ処理能力を強化するのに最適

本を読む人は読まない人に比べて死亡率が20%低下するとした研究もある。この「生存優位性」は雑誌や新聞よりも本を読むほうが高かった。

脳の集中力を強化する

読書を単なる娯楽ではなく、頭の体操と考えてもいいかもしれない。筋肉を鍛えるように、脳にも定期的に刺激を与え集中力を強化する必要がある。短時間の運動でも、定期的に行えば効果があることは周知の事実だ。

私は1週間、これを読書で実践することにした。朝と晩に15分ずつ、1日合計30分読書することを目標にしたのだ。また、気が散らないようデバイスではなく紙の本で読書するようにした。

ただでなく、この認知的忍耐力の筋肉も鍛えられた。1週間の「読書トレーニング」を続けて、いくつかのことに気付いた。何より、新しい本の最初の難関を突破するのが劇的に楽になった。読み始めのうちは、登場人物やテーマや著者の文体に慣れて没入するのに苦労するもの。だが毎日、読書だけをする時間を設けたことで、集中して入り込むのが容易になった。

アスリートがトレーニング中に「ゾーンに入る」というように、読書に集中する時間を確保すると、外の世界を離れて没頭できる。無意識にスマホやパソコンを触ってしまったこともあったが、目標を思い出してすぐにデバイスを閉じ、読書を再開した。

これから私たちはより多くのニュースや刺激を浴びるだろうし、集中力や情報処理能力を維持することはより重要になるだろう。毎日の決まった読書は、脳の鋭敏さを保つ最善の策だ。だから、あなたも一緒にいかが？ 歯を磨き、よく食べ、運動をし、そして読書しよう。

アブドラ・シハビ

（米ブラウン大学公衆衛生大学院研究員）

©2025 The Slate Group

POCKA / iStock



Soup Dumplings as Soft Power

小籠包パワーが世界を席巻する

フード 世界13カ国に170店以上を出店した鼎泰豊は
半導体と並んで台湾が発信するソフトパワーを担う

リシ・アイエンガー（フォーリン・ポリシー誌記者）

昨年のニューヨークのレストランシーンで最も注目された店の1つは、一見するとあまり目立たない。51番街とブロードウェイの角に位置する金色の建物には、英語と中国語で「鼎泰豊^{ディンタイフォン}」という赤い文字が記されているだけだ。

しかし階段を下りて店内に入ると、約500人を収容する空間が広がる。多くの客席からはガラス越しにキッチンが見え、この店の有名な点心が作られる様子を眺めることができる。

世界的な料理帝国である鼎泰豊のなかでも、ニューヨーク店は最大規模の店舗。世界の食の首都と呼ばれる街で昨夏、これほどオープンが待たれた店はなかっただろう。開店が遅れたことに怒った客が1つ星のレビューを投稿するほどだった。

公式サイトにある創業の物語は、移民の親を持つ人なら誰もが聞いたことのあるものだ。1948年、21歳の楊秉彝^{ヤン・ビョウイ}は内戦下の中国山西省からわずかな金を握り締めて台湾に渡った。彼は食用油を販売する会社の配達員として働き始めた。

10年後、その会社が閉鎖さ



中国との違いを主張することとは、近年の台湾にとって極めて大切になっている。台湾との「再統一」を目指す中国による侵攻の脅威が高まるなかで、その重要性はさらに増してきた。台湾は昨年、ただでさえ少ない公式な外交関係国をさらに失ったが、アメリカを筆頭とする非公式な関係は強化されている。

どの店でもハズレなし

昨年夏、私はフォーリン・ポリシー誌編集長のラビ・アグラウルと、ニューヨーク進出を果たした鼎泰豊でディナーを共にした。彼はこれまでシンガポール、香港、北京、上海、ロサンゼルスと5都市の鼎泰豊を制覇。そこにニューヨークが加わったと誇らしげに語った。

私が鼎泰豊の洗礼を受けたのは10年ほど前のこと。香港に配属された新米記者だった頃で、おなかと心を満たしてくれる料理を必死になって求めていた。見つけたのは、香港島の夜景が湾の向こうに広がる九龍の埠頭に近い店舗。この店は、ミシランガイドの1つ星を獲得した唯一の鼎泰豊の店でもある。

香港には点心を出すレストランは山ほどあるが、おすすめめの店を聞かれたら、私は迷わず鼎泰豊を挙げる。香港に

「台湾料理は移民の料理」と、

いつていい。その世界的な人気は台湾の国際的な認知度の向上に貢献し、鼎泰豊は台湾にルーツを持つことを誇りとしている。

創業者の孫で、アメリカ事業を兄弟で率いるアーロン・ヤンは一昨年、ロサンゼルス・タイムズ紙に「私たちは常に、発祥の地である台湾の本物の味を大切にしたいと強く感じている」と語っている。

台湾料理は移民料理

鼎泰豊の看板メニューである小籠包の発祥は台湾ではなく、中国本土で18世紀か19世紀に考案されたともいわれている。たとえそうだとしても、台北在住のフードライターであるリズ・カオのような人にとつては、鼎泰豊の小籠包が台湾料理としての正統性を損なうことにはならない。

「このミックス自体が、独特のアイデンティティーを形成していると思う」と、カオは言う。「私たちは台湾独自のアイデンティティーを確立しようとしており、台湾料理は中国料理とは別物だと言いたい」



至福の時 鶏肉を使ったニューヨーク店の小籠包

れると、楊は仕事で出会った妻の頼益妹と共に自分たちの食用油店を開く。店は70年代初頭まで順調だったが、缶詰油の登場によって業績が急落。レストラン経営者の友人のアドバイスで、小籠包の販売を始めた。小籠包はすぐに人気となり、やがて油の販売をやめて料理に専念することになった。

半世紀後、その決断は大きな成功を収めた。いま鼎泰豊は、13カ国に170以上の店舗を展開している。昨年だけでもニューヨークのほかに、タイのブーケット、シンガポール、ドバイ、カリフォルニアのデイズニールランドに新店をオープンした。

正式な大使館を世界にわずか12カ国にしか持っていない台湾にとつて、鼎泰豊の世界進出はソフトパワーの勝利と

駐在した2年半、この店には
さんさんお世話になった。

それにしても、世界中の鼎
泰豊に足しげく通う常連客の
うち、いったい何人が鼎泰豊
の点心を台湾の味だと知って
いるのだろう。実は私も香港
に着任して数カ月が過ぎ、九
龍店を何度も訪れてからよう
やく気付いた。ゲ

ーグルマップでも
ニューヨーク店は
「チャイニーズ・
レストラン」と記
されている。

だがフードライ
ターの力オによる
と、ルートが分か
りにくいのが台湾
料理の特徴だとい
う。「かつて国民
党政権が自分たち
こそ正統な中国政
府だと主張してい
た時代には、台湾
料理も中国に数ある郷土料理
の1つだといわれていた」と、
カオは言う。「私はその逆だ
と思う」

さまざまな郷土料理の流れ
をくみ、それらを融合して生
まれた台湾料理は、各地の料
理の頂点に立つ、というのだ。
鼎泰豊の自慢の味は小籠包

だけではない。ワンタンや麵、
スープ、チャーハンなどメニ
ューは豊富で、デザートには
チョコレートやタロイモ、黒
ごま入りの点心もある。

とはいえ、スパイスの効い
た豚のミンチと薄味のスープ
入りのオリジナル小籠包は、
今も押しも押されぬこの



新規開店 マンハッタンの一等地にオープンしたニューヨーク店

駄のないスムーズな流れには、
「食べたら速やかに退席のこ
と」という無言のメッセージ
が込められているかのようだ。
やはり台湾の強みである半
導體生産と同じく、効率的な
流れ作業が安定したクオリテ
ィーを生む。店舗によるばら
つきがなく、どこで食べても
ハズレはない。台北でも東京
でも、シドニーやニューヨー
クでも、鼎泰豊の店に入れば、
期待したとおり小籠包を味
わえる。

TSMCの近くに出店

中台間の緊張の高まりと関
係があるかは不明だが、鼎泰
豊は昨年8月、北京店も含む
中国北部の14店舗の閉鎖を
発表した。ライセンス契約が期
限切れとなり、更新のための
交渉がまとまらなかったため
と説明されている。この14店
舗とは別にフランチャイズ契
約を結んでいる中国南部の18
店舗は営業を続けるという。

時代を感じさせるもう1つ
の動きは、アメリカで近くオ
ープンする店舗の場所だ。ア
リゾナ州スコッツデール。鼎
泰豊がここへ進出するのは、
TSMCが400億ドルを投じて
新たに建設した半導体の生



世界で人気 台湾が得意とする半導体と同じく、鼎泰豊の小籠包は安定した品質を誇る

産拠点に近いからだろう。

鼎泰豊がいつどこに出店す
るかは、経営陣の判断次第。
台湾政府が民間企業の拡大戦
略に口を出すことはないが、
小籠包のソフトパワーが台湾
外交の強みとなることは政府
関係者も認識している。

私は昨夏、首都ワシントン
で台湾の駐米代表（駐米大使
に相当）である俞大滄にイン
タビューした。取材を終えて、

自分はこれから鼎泰豊の新し
い店に行くためにニューヨー
クに向かうと話すと、彼はに
っこり笑ってこう明かした。

「アメリカの政治家と話すと、
決まって頼まれるんだ。特に
台湾に行ったことがある人に
は強くせがまれる。『ワシン
トンにも出店するよう鼎泰豊
に話をつけてくれ』とね」

すぐに私は「ぜひお願いし
ます!」と言っていた。

葛屋重三郎 とその時代。

歌麿、写楽、北斎を世に送り出した
江戸の出版王の粹な人生と時代背景を大解剖。

2025年大河ドラマの主人公！
葛重を知る
最初の1冊に最適！

葛屋重三郎研究の第一人者・鈴木俊幸氏、
江戸文化を深く知る講談師・神田伯山氏のインタビューほか、
江戸の研究者・専門家たちが語る葛重の真の姿。

好評発売中！



- ◎葛重が仕掛けた7つの偉業
- ◎歌麿・写楽・北斎etc. 作品解説
- ◎人物相関図・生涯年表
- ◎江戸のメディアと政治／当時の出版文化
- ◎葛重が生まれ育った吉原遊廓
- ◎江戸時代の出版統制

書店・出版を生業に粋な町人文化を発信し、ヒット作で江戸の街を熱狂させた葛屋重三郎。その顔は時に堅実な経営者であり、時に人気文化人を繋いで斬新な企画を立ち上げる編集者であり、時には新たな才能を育て、世に打ち出す名プロデューサーであった。研ぎ澄まされたビジネス感覚と、体制や弾圧にも挫かれない気骨を今こそ彼の生涯から感じてほしい。

ペン編集部[編]

定価1,980円(本体1,800円)
160ページ(A5判・並製・フルカラー)
ISBN978-4-484-22119-9

まさに魔法のような復活劇だ。イギリスの作家で「ハリー・ポッター」シリーズの生みの親であるJ・K・ローリングは近年、心と体の性が一致しないトランスジェンダーの人々に対する見解をめぐって激しい批判を浴び、一部の関係者から距離を置かれてきた。だが、ついにこの「文化戦争」で勝利を収めたいらしい。

問題視されていたのは、ローリングがトランス女性の性自認に疑問を抱く女性たちを支持し、トランス女性について語る際に男性代名詞をかたくなに使い続けていたことだ。

X（旧ツイッター）で持論を展開するローリングに、セレブたちは非難の声を上げ、SNSのユーザーたちは嫌悪感をあらわにした。トランスジェンダーの権利擁護を訴える活動家たちからは「TERF」とのレッテルを貼られた。TERFとは「トランス排除的ラディカルフェミニスト」の略で、トランスジェンダーを認めない人に対して否定的なニュアンスで使われることが多い（一方で、ローリングの意見を支持する人が少なからずいたのも確かだ）。

風向きが変わってきたのは

Has J.K. Rowling Won the Culture War?

J・K・ローリングに「復権」の兆し

カルチャー トランスジェンダーをめぐる議論で何度も炎上したものの
ワーナーが問題視せず、ハリポタ新ドラマ制作にも参加する理由

最近のこと。米メディア大手ワーナー・ブラザーズ・ディスカバリー（WBD）と傘下のケーブルテレビ局HBOは昨年11月、「ハリー・ポッター」シリーズをドラマ化するプロジェクトにローリングが関わっていることを明らかにするとともに、ローリングのトランスジェンダー関連発言をめぐる議論には口を挟まな

れてローリングに関する発言を避けてきたWBDにしては、ずいぶんはつきりとしたお墨付きを与えたものだ。実はトランスジェンダーの人々の権利に関する文化的議論は最近、新たな局面を迎えている。ローリングが、ジェンダークリティカル（性自認よりも生物学的な性を重視する考え方）な発言をしたために職を



復活 ローリングには社会状況の変化も味方?

いとの立場を示したのだ。

HBOの広報は、ドラマに対するローリングの貢献は「計り知れず」、「彼女の関与は作品に利益しかもたらさなはずだ」と発言。トランスジェンダー問題についても「J・K・ローリングには個人的な意見を表明する権利がある」と述べた。

これまでファンの反発を恐

失った女性研究者を支持する姿勢を見せたのは2019年のことだ。ツイッターにローリングはこう書いた。「着たいものを着ればいいし、好きな呼び方で自分を呼べばいい（生まれ持った体の）性別は厳然たる事実だと言ったせいで、女性を職場から追い出すなんて」

20年にローリングは自らの

ウェブサイトで、トランスジェンダーの権利擁護活動への懸念や、トイレなど男女別のスペースの安全性、そして女性と女の子の権利についての文章を公開。これに対し、性的少数者の権利を擁護する団体やファン、個人から「ローリングはトランス嫌悪だ」と批判の声が上がった。

映画キャストからも批判

映画「ハリー・ポッター」シリーズの主要キャストであるダニエル・ラドクリフ、エマ・ワトソン、ルパート・グリンツ、それに「ファンタスティック・ビースト」シリーズの主演俳優エディ・レッドメインもローリングの発言を公の場で非難した。

ラドクリフは20年、性的少数者の若者の自殺防止活動を行っている団体に寄せた文章で「トランス女性は女性だ。それとは反対の（彼女らは女性でないとする）いかなる言葉も、トランスジェンダーの人々のアイデンティティーと尊厳を大きく傷つけるものだ」と述べている。22年、ローリングは主要キャストが参加する映画版「ハリー・ポッター」20周年記念番組への出演オ



反対派 トランスジェンダーの権利擁護を訴えるデモではローリング批判のプラカードも(「シスジェンダー」は心と体の性が一致する人、23年7月、ロンドン)

フアーを断った。

そして今、WBDは業績不振に陥っており、ドラマ版ハリー・ポッターに起死回生の魔法を期待している。

WBDは24年の4～6月期に100億^{ドル}近い赤字を出したほか、負債額も400億^{ドル}近くに上る。そこで同社では既存の人気シリーズを活用して収益性を最大限に上げ、ファンを引き付けようという戦略を立てている。26年に放送開始予定のドラマ版ハリー・ポッターは、その目玉なのだ。つまりWBDがローリング擁護に転じたのは、原作者の制作参加がドラマにもたらすプラスの効果のほうだが、世間の反発のリスクを上回ったということにほかならない。

トランプ的狹量さの時代

トランスジェンダーの人々の権利をめぐる社会的・文化的状況の変化も見逃せない。昨年の米大統領選挙では「女性のスポーツから男性(トランス女性)を締め出す」ことを公約に掲げたドナルド・トランプが勝利した。

もちろんアメリカでもトランスジェンダー差別はなくすべきだと多くの人が考えてい

る。ピュー・リサーチセンター

による22年5月の調査では、「仕事や住宅、公共の場所」における差別からトランスジェンダーの人々を守るべきだと答えた人が半数を超えた。

一方、ユーガブが昨年1月に行った世論調査では、トランスジェンダーのスポーツ選手が性自認に合ったチームで試合に出ることに反対するアメリカ人が59%に達した。トランスジェンダーの人が性自認に合ったトイレを使うことにも半数が反対した。

「トランプが再選されたことから、風向きの変化に驚きはない。こうした考えが一般的になるのでは」と、PR会社レッド・バンヤンのエバン・ニアマンCEOは言う。

企業のお墨付きは得られたローリングだが、PR会社ライティング・デイレクティブの創業者兼CEOのリンジー・チャステインに言わせれば、彼女のイメージは必ずしも改善してはいない。

「SNSの本好きのコミュニティを訪ねてみれば、今も彼女が問題のある作家として扱われ、冷たい目で見られていることが分かるはずだ」

任天堂のゲームボーイでやった『スーパーマリオブラザーズ』。それが初めてのビデオゲームだったと思う。学校の友達もみんなやっていて。その次は『ポケモン』だ。トイレでもプレーするくらい夢中で、母に写真を撮られたよ。両親はゲームではなかった。バドミントンとかトランプとか普通の娯楽に親しむタイプだ。私はビデオゲームもスポーツも好きで、この2つには共通点があると感じている。どちらも競争の要素があり、ベストを尽くして戦うものだし、ゲームを分析してその仕組みを最大限に生かすところも同じだ。

友達とゲームボーイをつないでプレーすることもあった。あまりにも夢中になって、睡眠時間を削ったり、顔にチックの症状が出たりしたときはさすがに両親も心配していた。でも、ゲームそのものを禁止されたことはない。

初めてゲームで報酬を得たのは、『ヒーローズ・オブ・ニューワース』だった。ごく少額だったけれど、ゲームで報酬を得る道があるのかと両親は少し安心したようだった。賞金が数千円に達する大会も

あったしね。

その頃の私は10代半ば。賞金を稼げたことで、将来について楽観的な見通しを持てるようになったのは、とても大きかったと思う。

できれば無名に戻りたい

対戦型ゲームをスポーツとして楽しむeスポーツは著しい成長を遂げてきた。最大の

節目は2011年に、人気作

品『DotA2（ドータ2）』の世界大会ザ・インターナショナル（TI）が開催されるようになったことだ。

5人組のチームが激突するトーナメント式の大会で、優勝チームは多額の賞金を得られる。第1回TIの賞金が100万ドルとなったことは、eスポーツを新たなレベルに引

き上げたと思う。

私は10歳頃から『ドータ』を始め、そこで使ったNottail（ノテイル）というゲーマータグ（ユーザー名）でeスポーツの世界で知られるようになった。多くの人が私のプレーを見て、会ったことがなくてもよく知っているキャラクターのように思うようになったのだ。

eスポーツファンとの交流はとても良い経験になったと思う。でも本来は内向的な性格だから、有名になるのはちょっとつらかった。常に注目されることで輝く人もいるけれど、私は違う。無名に戻るボタンがあるなら、それを押したいね。プライバシーはあったほうがいい。

私が本格的に始めた頃は、（プロのゲーマーなんて、という）疎外感があったけれど、今は全く違う。これはドータ2の開発元であるバルブといった企業のメディア戦略によるところが大きいと思う。彼らはeスポーツのイメージアップに大きく貢献した。

個人的に今までで一番うれしかった瞬間は、自分が立ち上げたチーム「OG Eスポーツ」が第8回TIに優勝したときだ。本番で最高のパフォーマンスができるように、チームで拷問に近い努力をしたから、夢に見た以上の結果を出せたときは恍惚とした。今までで一番落ち込んだのは、所属していたチーム「クラウド9」を辞めた2015年かな。第5回TIに向けて半年近く準備をしたのに、ひどい成績に終わった。クラウド



‘I’m the Highest Earner in Esports’

eスポーツとともに成長してきた今思うこと

キャリア通算獲得賞金の世界一に君臨する
デンマーク出身のプロゲーマーが語る競技ゲームの世界

ヨハン・“N0tail”・スンドスタイン (OG Eスポーツ設立者)

ド9に参加したときはそんなことになると思ってもらえなかったから、最悪の気分だった。1年くらい休みを取って、ゲームから離れようかなとも考えた。でも、結局その年のうちにOG Eスポーツという自分のブランドを立ち上げた。そのことはとても誇りに思っている。あのときゲームから離れていたら、今頃どうなっていたかと思うよ。

大会の運営には不満も

実は、この2年ほどドータを全然やっていない。プロとして散々やってきたから、遊びでやる気にはなれないんだ。キャリア通算獲得賞金が700万ドルを超えて、最も稼いでいるeスポーツプレイヤーという称号をもらったけれど、そのタイトルを必死に守りたいとは思わない。重要なのはタイトルではなく、勝つこと。ゲームで設定された目標を分析して実行する能力が、自分にあることだ。

でも、世界中を転戦するのはつらかった。場所を変えるのは楽しいけれど、移動は面倒で疲れる。飛行機も空港も嫌いだし、(コロナ禍のとき)あれこれ検査されるのも嫌だ



最高の達成感 24歳のとき自ら率いるチームがTIを連覇してトロフィーを掲げるN0tailとスンドスタイン(2019年8月、上海)

った。食生活を変えるのも好きではない。

大会は毎年同じ場所で開催されるほうがいい。プレイヤーはあちこち移動しなくていいし、ファンの関わりも強まるだろう。主催者だってそのほうが楽だと思う。TIが何年か連続でシアトルで開催されたときは本当によかった。

eスポーツの頂点に立つためには、多くの犠牲が伴う。ゲームが楽しかったときは、人生のいろいろなことを諦めた。多くの喜びを得たから後悔はないけれど、今は違う。自分自身と、自分にとって大切な人たちや物事を優先したい。もっと自分に時間を与えて、普通のスケジュールで生活できるようにしたい。

もちろん今も、OG Eスポーツのメンバーとすごいことを成し遂げたいと思っている。彼らに私と同じ経験、あるいはもっとすごい経験をしてほしい。彼らには最高のチャンスが与えられていると思ってほしい。

私は競争が好きだ。チームのメンバーの能力を限界まで押し上げたいし、そのために自分の経験を伝えていきたい。これは天職だと思う。

書店店頭で
開催される

「ペンブックス フェア」

で、実際に手に取って
ご覧ください。



江戸 デザイン学。

ペン編集部【編】
定価1,650円（本体1,500円）
ISBN978-4-484-10203-0

PenBOOKSで学ぶ、

日本の 伝統と文化

茶の湯デザイン

ペン編集部【編】／木村宗慎【監修】

その昔、中国から渡来した茶は、時を経てア
ートになった。茶室、茶碗、茶筌や茶杓、釜な
どの茶道具、茶の湯に欠かせない花、菓子、
懐石、そして抹茶まで、日本が誇る総合芸術
の魅力をすべてを網羅。

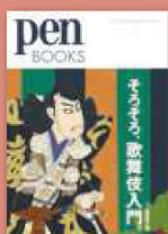
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-09216-4



pen BOOKS

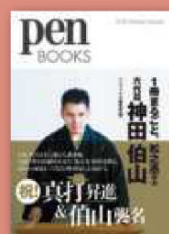
雑誌「Pen」で好評を博した
特集・連載を書籍化。

永久保存版、
ペンブックスシリーズ。



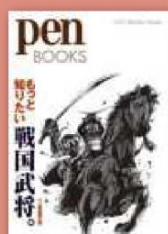
そろそろ、 歌舞伎入門。

ペン編集部【編】
定価1,870円（本体1,700円）
ISBN978-4-484-17230-9



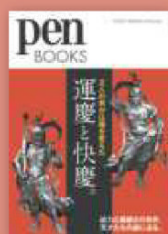
1冊まるごと、 松之丞改め 六代目神田伯山

ペンブックス編集部【編】
定価1,650円（本体1,500円）
ISBN978-4-484-20202-0



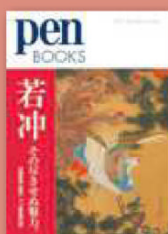
もっと知りたい 戦国武将。

ペン編集部【編】
定価1,650円（本体1,500円）
ISBN978-4-484-10202-3



2人の男が仏像を変えた 運慶と快慶。

ペン編集部【編】
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-21220-3



若冲 その尽きせぬ魅力。

ペン編集部【編】／
狩野博幸【監修】
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-16212-6



千利休の 功罪。

ペン編集部【編】／
木村宗慎【監修】
定価1,650円（本体1,500円）
ISBN978-4-484-09217-1



サンダーバード 完全読本。

ペン編集部【編】
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-21236-4



新1冊まるごと 佐藤可士和。 [2000-2020]

ペン編集部【編】
定価2,200円（本体2,000円）
ISBN978-4-484-21201-2



石ノ森章太郎と サイボーグ009

ペン編集部【編】
定価1,870円（本体1,700円）
ISBN978-4-484-18232-2

PenBOOKSで学ぶ、

現代の アートとカルチャー

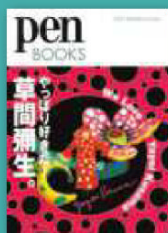
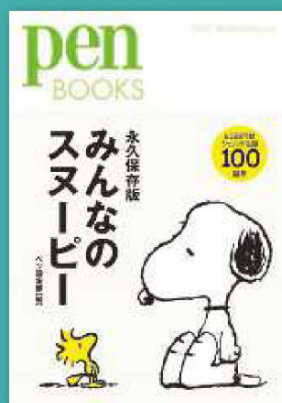
永久保存版 みんなのスヌーピー

ペン編集部【編】

個性豊かなキャラクターたちが登場する「ピー
ナッツ」。ゆかりの町サンタローザから著名
人たちが語る「ピーナッツ」愛まで、さまざまな
角度からその奥深い世界へと案内する。

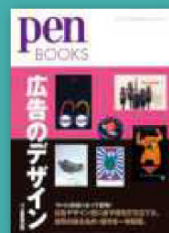
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-21232-6

©2021 Peanuts Worldwide LLC www.snoopy.co.jp



やっぱり好きだ! 草間彌生。

ペン編集部【編】
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-11220-6



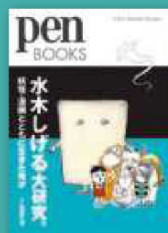
広告の デザイン

ペン編集部【編】
定価1,650円（本体1,500円）
ISBN978-4-484-10209-2



名作の100年 グラフィックの 天才たち。

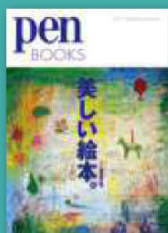
ペン編集部【編】
定価1,870円（本体1,700円）
ISBN978-4-484-17216-3



水木しげる 大研究。

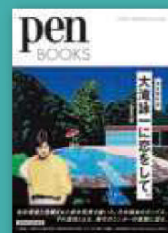
妖怪・漫画とともに生きた鬼才

ペン編集部【編】
定価1,870円（本体1,700円）
ISBN978-4-484-19237-6



美しい絵本。

ペン編集部【編】
定価1,650円（本体1,500円）
ISBN978-4-484-09233-1



大滝詠一に 恋をして。

ペン編集部【編】
定価1,980円（本体1,800円）
ISBN978-4-484-22238-7

CCCメディアハウス

〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1 ☎049-293-9553

books.cccmh.co.jp

Twitter @cccmh_books

Facebook cccmh.books

全国の書店でお買い求めください。

「長時間労働」にも
「マンパワー」にも頼れない
現代の中間管理職が挑む
無理ゲー！

今、
中間管理職
が辛い――

いくらあっても足りない時間、
いくらやっても終わらない業務、
入れれば抜けていくチームメンバー、
彼らを取り組んでいるのは、
クリア困難な「無理ゲー」だ。

攻略の鍵は
着眼点の転換と
仕組み作りにある！

中間管理職 無理ゲー 完全攻略法

目次

- ✓ 自分のレベルを上げたいのに
日々突発業務に追われて
時間を作れない！
- ✓ メンバーが育っては抜けてをくり返し
チーム力が一向に上がらない
- ✓ 自走できる部下がいないために
指示出しと確認に追われる日々……
- ✓ 長期目標のために注力したいのに
会社からは
短期業績を詰められる etc.

中間管理職が
追われる
無理ゲーの数々に
応える、

完全
攻略本

Q&A形式で
わかりやすく
紹介

中谷一郎[著]



● 定価1,870円（本体1,700円） ISBN978-4-484-22253-0

はじめに

- 1面 ゲーム主人公としての無理ゲー攻略
頑張ってるのに評価されない／スキルアップに充てる時間がない／次から次へと突発業務が降ってくる etc.
- 2面 チームビルディング上の無理ゲー攻略
機会損失をなくしたい／離職が相次ぐ／指示が現場に伝わってない etc.
- 3面 対部下との関係上の無理ゲー攻略
部下のミスを減らしたい／部下からのコミュニケーション量を増やしたい／自走する部下に育てるには etc.
- 4面 対上長との関係上の無理ゲー攻略
長期目標に向かいたくても短期業績を詰められる／確認続きで時間ロス／見当違いのアドバイス etc.

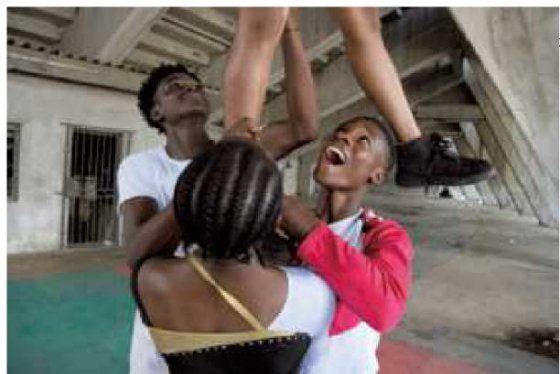
おわりに

中谷一郎 ● 大学卒業後、ベンチャー・リンク社を経て2010年にトリノ・ガーデン株式会社を設立。サービス業を中心に、建設、小売、メーカーなど幅広い業界における大企業の収益・生産性改善を、「オペレーション分析」を通じて実現してきた。その手法は一般的な戦略コンサルタントのそれと異なり、徹底的に現場の様子を「可視化し計測し記録すること」。近著に「オペレーション科学」（柴田書店）がある。

Picture Power



26歳の時にチアを始めたけど人生で最もハードな挑戦だった
でも私という存在を輝かせ、強くしてくれるチアが大好き——ハッサナ・ムサ



JUMP FOR JOY

チアが生んだ 喜びと絆は 国境を越えて

PHOTOGRAPHS BY CHRISTIAN SINIBALDI

アメリカの高校生活を描く映画や試合会場を彩るエンターテインメントと結び付くチアリーディング。実は豊かな歴史がある。

チアは19世紀後半、南北戦争の頃のアメリカで誕生した。戦地から帰還した男子大学生が始めたのがきっかけとされ、当時は女性のチアリーダーはほとんどいなかった。女性の間で広まり始めた20世紀半ば

以降、年齢や性別に関係なく親しまれている。

今やチアは組体操のようなスタンツやダンスなどを入れた2分半の演技でメダルを目指す競技となった。2004年、国際チア連盟（ICU）が世界的な統括団体として承認され、21年には国際オリンピック委員会がスポーツとして認定。オリンピックの正式種目となる可能性も出てきた。

1000万人の競技人口を抱えるチアは、意外な国でも人気が高い。写真家のクリスティアン・シニバルディはイギリスのほか、ナイジェリアやカザフスタン、ベトナム、ギリシャを訪れ、地元チームの技や情熱、家族のような絆に焦点を当てた。チアへの古い固定観念に挑戦し、国際的スポーツとしての多様性と楽しさを伝えるために。



ナイジェリア

（上）ナイジェリア最大の都市ラゴスの路上で、チアリーディングチーム「ラゴス・チア・ナイジェリア（LCN）」が華麗なスタンツを披露。中央のハッサナ・ムサ（32）が着ている黒いユニフォームは、

一緒にサマーキャンプを経験したロンドンのチーム「ユニティ・オールスターズ・ブラック」から譲り受けたものだ／（左上）週2回、ラゴスのスタジアムでスタンツの練習に励むLCNのメンバー

チアへの情熱を
両親に理解してもらうのに苦勞している
でもチアは**私たちが幸せにしてくれる**
夢の五輪出場がかなえば
両親も認めてくれるかもね

ハン



ベトナム

(上)ベトナムのホーチミンを拠点に活動する「サイゴン・ビースト」の創設者であるハンとチャン夫妻。チアは彼らの情熱であり、特別な絆だ。衣装からスタント、演技まで手作りで、あらゆる時間をチームのためにささげている。チャンは不動産で働き、ハンはフルタイムのコーチになることを目指しながらパートタイムの仕事をしている／
(左)チャイナタウンでの練習的一幕。サイゴン・ビーストはベトナム初のチアリーディングチームで、創設者のハンはYouTubeで技法を学び、若い世代にチアの魅力を発信している



カザフスタン

(上から時計回りに)「チア・カザフスタン」のメンバーたちがカザフスタンの首都アスタナにある独立広場でパフォーマンスする／食品市場でスタuntsを披露／14歳のムラ・リアナはチア歴4年で、2022年と23年にカザフスタンのチャン

ピオンに輝いた実力の持ち主だ。「本当にチアスポーツが好き。もちろん簡単ではないけど、諦めないことが一番大事。国の代表としてオリンピックや世界選手権に出場することを目指していて、成功できると信じている」

(右から時計回りに)エバ・ペトロシアン(17)は、ギリシャの首都アテネで活動する「アマゾンズ」のチアリーダー。6歳からチアを続け、オリンピック出場が夢だ。「チアマットの上で人生の教訓をたくさん学んだ。チアは家族のようなもの。毎日何時間も、何カ月も何年も練習

を続ける。これが仲間との素晴らしい絆を生む」／海辺で練習に励むアマゾンズ。メンバーは16～28歳の28人で、23年には全国大会と欧州大会で優勝を果たした／エレフセリア・クシヌーは「国章を身に着け、国を代表し、金メダルを取って国歌を聞くことが喜び」と語る

ギリシャ



イギリス

(右)「ユニティ・オールスターズ・ブラック」が、ロンドンの中心街でスタンツを披露。フライヤーのローレン・グレイ(22、右)は8年間体操選手として活躍した後、16年にチアを始めた。「22年には世界選手権で銀メダルを獲得した。今年もまた優勝を目指す」と意気込む／(下)アダム・メルル(21)は6歳からサッカーに励んだ後、きょうだいがやっていたことがきっかけで20年にチアを始めた。23年にユニティ・オールスターズ・ブラックに入団して以降、3つの金メダル獲得に貢献した



06年からチアを続けるきょうだいを通して
このスポーツが大好きになった
今年の世界選手権には
イングランド代表として出場したい

アダム・メルル

▶ Photographs by Christian Sinibaldi-Panos |

撮影:クリスティアン・シニバルディ ローマ生まれ。ドキュメンタリー、広告、アートの分野でマルチに活動する写真家。大学で社会学、コミュニケーション、広告を学び、写真を通じて、人間同士の対話や共感を生み出すことを目指している。現在はロンドン在住。

●編集長	長岡義博		
●編集長代理	大橋 希		
●アートディレクター	三井康司		
●フォトディレクター	川崎寿子		
●編集	高木由美子	知久敏之	小暮聡子
	澤田知洋	寺山 綾	鈴木俊平
●デザイン	沼沢由佳子		
●写真	古田土 栄		
●フォトエディター	片岡英子		
●編集協力	井口景子	杉浦茂樹	伊藤和子
	栗原紀子	池村千秋	雨海弘美
	矢野 薫	村井裕美	小林由香利
	服部真琴	藤原朝子	石川真弓
	長尾実佐子	森田浩之	清水典子
	森 美歩	前田雅子	Janet Ashby
	Paul Narum		
●校正	竹内輝夫	熊澤華栄	真田修志
●デジタル編集長	森田優介		
●編集長代理	藤田岳人		
●編集	岩辺智博	小林 薫	菊池大介
	岸 智則	千葉香代子	榎木博行
	阿部凜子		
●リサーチャー	大木 透		
●制作	月田輝也(ポテトスープ)		
●編集顧問	沢田 博		
●広告	阿部 剛	中村至孝	野口研自
	鈴木 愛	松越由美	長沼博宣
	小池篤史	加藤 圭	加藤 彩
	熊野翔太		
●デジタルマーケティング	熊谷 卓	赤坂恵子	枝村由香
	井上紀子	稲 康正	渡辺祐三
	木塚みお		
●お問い合わせ先	販売 049-293-9553(書店関係)		
	広告 03-5436-5730		
	編集 https://form.run/@cccmh-1668160538		
●印刷・製本	大日本印刷株式会社		
●発行人	菅沼博道		
●発行所	株式会社CCCメディアハウス		
	〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1		

©Newsweek LLC, 2025

©CCC Media House Co.,Ltd., 2025

予約購読は☎0120-223-223まで

受付: 24時間・365日
富士山マガジンサービス

『ニュースウィーク日本版』は毎週火曜日発売。

U.S. Steel Deal Blocked

退任が目前に迫るバイデン米大統領が日本製鉄によるUS スチール買収計画の阻止を決定。国家安全保障上の懸念を理由に挙げているが、日米関係に軋轢が生じる恐れもある。



President Joe Biden has formally blocked a proposed near-\$15 billion **acquisition** of U.S. Steel by Nippon Steel of Japan due to “national security” concerns. The decision, announced on Jan. 3, follows months of **scrutiny** by the **Committee on Foreign Investment in the United States** (CFIUS), which failed to reach a consensus and **referred** the matter to the president. Biden’s **executive order** prohibits the **transaction** and **mandates** its full **abandonment** within 30 days. Japan, a **key ally** and the largest foreign holder of U.S. debt, may see the decision as a **strain** on **bilateral** relations.

Adapted from Newsweek.com, Jan. 3, 2025

n-o-t-e-s

- ① **acquisition** (企業)買収
② **scrutiny** 審査
③ **Committee on Foreign Investment in the United States** 対米外国投資委員会
④ **refer** 々に委ねる
⑤ **executive order** 大統領令

- ⑥ **transaction** 取引
⑦ **mandate** 命じる
⑧ **abandonment** 放棄
⑨ **key ally** 主要同盟国
⑩ **strain** 摩擦
⑪ **bilateral** 2国間の

Letters

独裁政権が崩壊した
シリアに願うこと

アサド父子の独裁政権が長年続いたシリアにとって、2011年に広がったアラブの春は自由と民主化への希望となるはずだった。だが政府と抵抗勢力と諸外国のさまざまな勢力が攻防を繰り返し、内戦は泥沼化した(特集「アサド政権崩壊」2024年12月24日号)。

独裁者が亡命したこと、シリアはひとまず第一歩を踏み出したと思いたい。問題は山積している。一日も早い混乱の収束を願う。同時に、戦争犯罪に手を染めたとされる人々は体制側、反体制側を問わず、国際法廷で厳正に裁かれるべきだ。

青木まさみ(神奈川県)

シリアの政権崩壊とアサド大

投稿をお待ちしています

本誌の記事について、ご意見・ご感想をお寄せください。300字以内にまとめ、氏名、年齢、住所、電話番号を明記してください。掲載分には記念品をお贈りします。氏名等の個人情報は、投稿内容の確認または掲載者へ記念品を送付する場合に限り利用します。郵送の場合は下記の宛先へ、電子メールの場合は nj_letters@cccmh.co.jp まで。

〒141-8205 東京都品川区上大崎3-1-1
CCCメディアハウス
ニュースウィーク日本版レターズ係

統領のロシア亡命は、21年8月にアフガニスタンで起きた政権崩壊と似通った現象だ。シリアはロシアやイラン、アフガニスタンはアメリカという大国の後ろ盾で政権を維持していたが、その力が弱まるとなすすべなかった。自国内で支持を受ける努力をせず、大国にすがらだけではこの結果は必定だった。

永作肇(東京都)

真実を読み解く。深い追求、グローバルな視点

ニュースウィーク日本版
Newsweek

定期購読で バックナンバー 読み放題!



■定期購読なら、**2007年から18年分約900冊**ものデジタル版のバックナンバーをパソコン、スマホ、タブレットでいつでも読めます。

※定期購読をご継続いただくことで読み放題も続けてご利用いただけます。

■定期購読なら、**送料無料**でご自宅・オフィスに毎週お届けします。デジタル版最新号を毎週火曜朝にいち早くお読みいただけます!

※デジタル版最新号は、月曜または火曜が祝日の場合のみ水曜朝のお届けになります。

■さらに、1冊あたり雑誌定価**520円**+送料約**200円**を**450円**(3年購読)でお手元にお届け。**便利で、お得です!**

便利で、お得な定期購読のお申込みは

Fujisan.co.jp
雑誌のオンライン書店

 **0120-223-223** [9:00~21:00]

ニュースウィーク **fujisan** 



※電話でお申込みの際は、PC・スマホで使用可能なメールアドレスをご用意ください。※月額払いプランをご希望の場合は、事前にクレジットカードもご準備ください。

■注 意 事 項 お申込みはFujisan.co.jpの利用規約に準じます／お届けは発売日前後を予定しておりますが、配送事情により遅れる場合がございます／本商品はいつでも解約可能です。

■お問い合わせ 富士山マガジンサービス カスタマーサポート [メールアドレス] cs@fujisan.co.jp [電話] 0570-200-223 平日10:00~17:00 [お問い合わせフォーム] <http://www.fujisan.co.jp/faq/>

Maybe Japan's Political System Is Better

もしかして、日本の政治のほうがまし？

西村カリン (ジャーナリスト)

私

は日本の政治家をよく批判する記者だが、「もしかしたら、日本の政治のほうがましではないか」と最近思うようになった。「いやいや、日本の政治は駄目だよ」と反論する読者は少なくないかもしれないが、世界中、特に先進国で起きていることを見れば、日本の政治は駄目だという意見が変わる可能性がある。

日本政治の問題は、日本の未来像を持っていない政治家が多く、彼らが国民の日常生活の課題を知らず、その課題を解決できる政策を考えず、時代錯誤の考え方が根強く、政治と金の問題が繰り返して噴出する……と、いくつも挙げられる。

でも今は自民と公明の与党が衆議院で過半数割れしているので、与党が勝手に政策を決めることはなく、野党と議論し、よりバランスの取れた政策につながるものが期待できる。つまり、より民主主義的に国が運営されている。

善くも悪くも自民党の存在感が大きく政権交代があまりない、自民党は部分的に極右だから別の極右政党が生まれて力を持つ可能性が低い、極端な人が首相になるリスクが低い、ともいえる。結局、比較的ではあるが、日本の政治は安定している。



以前は私の母国フランスの政治状況のほうが安定的だったが、最近は心配するほどひどくなった。昨年1年間で首相が3回交代した。12月に4人目の首相になったフランス・バイルも、数週間か数カ月で辞職する可能性がある。

なぜこんな状況になったかというと、理由がないまま昨年6月に解散総選挙を勝手に決めたエマニュエル・マクロン大統領の誤った判断が原因だ。マクロン本人が2027年春の任期満了を待たず、本年中に辞任するのではないかと議論もある。

韓国では尹錫悦大統領が戒厳令を出し、極めて不安定な状況になっている。ドイツではオラフ・シュolz首相の信任投票が議会で否決され、総選挙が前倒しされる。カナダでは突然、ジャスティン・トルドー首相が辞任を

表明。イギリスでも大規模な児童性的虐待の問題で、与党の基盤が揺らいでいる。

欧州を中心に先進国の政治は深刻な危機に陥っているが、経済も危険な状況だ。フランスは25年(12月)の予算が決まっていない。借金が増え続けているので節約しなければならず、増税は避けられない。それに比べたら、日本も借金は大きい。日銀や銀行などが国債を購入しており、フラ

ンスより財政危機のリスクが低い。

EUの最大の柱といわれるフランスとドイツが政治的混乱に陥ったのは、国民の支持や議会の多数派を背景に、強い権力を持ったドナルド・トランプが再びアメリカ大統領になるタイミングだった。弱いEUは、彼からすると最高の状況だ。だからトランプは堂々とんでもない発言をする。

トランプというリスクに加えて、イーロン・マスクの政治介入というリスクもある。世論を左右するSNS「X(旧ツイッター)」のオーナーで、スペースXやスターリンク、ニューラリンクといった最先端技術を提供する企業も所有するマスクは世界的な金持ちの1人だ。ただの経営者ではなく、世界最大の権力を持つ人とみるほうが正しい。

彼が影響力を持ちすぎるのは危険だと専門家はだいぶ前から警告していたが、それを理解しないマクロンはマスクを何度もバリエに招待した。仲間になれば有利と思ったからだ。ただ、マスクはトランプ次期政権の重要人物になると同時に、欧州の政治に介入し始めた。ようやくマクロンはその危険性に気付いたようだが、遅すぎる。

日本の政治家は欧州の現状をしっかりと分析すべきだろう。日本にもマスクの悪影響を受けるリスクは存在するからだ。



KARYN NISHIMURA

1970年フランス生まれ。パリ第8大学で学び、ラジオ局などを経て97年来日。現在はラジオ・フランスおよびリベラシオン紙の特派員として活動している。著書に『フランス人記者、日本の学校に驚く』など。

N